

令和5年度事業報告



ひたすらなるなかり

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

I	令和5年度事業計画の重点事項に基づく主な事業	1
II	部門別事業実施状況	
	経営部門	
	<総務課>	9
	<修学・生活資金課>	18
	地域福祉部門	
	<地域福祉課>	24
	<レイカディア振興課>	54
	人材部門	
	<介護・福祉人材センター>	66
	<社会福祉研修センター>	75
	福祉用具センター	81
	コージータウン	85
	運営適正化委員会	88

令和5年度事業計画の重点項目に基づく事業

令和5年度は第二次経営計画の最終年度であり、目標未達の項目について確実に取組むとともに、次の3つの視点を意識しつつ、「縁の架け橋」という志を様々な事業に架け、実践を進化させた。

- ①多様なかたちでつながりをつくる視点
- ②滋賀の福祉人の育成と、社会的価値の創造・定着の視点
- ③当事者の声を社会に発信する視点

1 第三次経営計画の策定

第二次経営計画の実績評価による振り返りを行うとともに、策定委員会による協議を重ね、第三次経営計画案を作成した。令和5年12月開催の理事会において骨子案を提出。令和6年3月理事会において承認を得た。

経営計画策定協議

回	開催日	内容
第1回	7月19日	策定スケジュール、方向性確認
第2回	7月31日	全体像の確認
第3回	8月18日	現状と課題、重点事項について
第4回	9月1日	重点事項について
第5回	9月15日	重点事項について
第6回	10月10日	事業戦略について
第7回	10月30日	事業戦略について
第8回	11月13日	事業戦略について
第9回	11月15日	骨子案の策定
第10回	11月29日	骨子案の策定
第11回	12月1日	骨子案の策定
第12回	12月6日	骨子案の策定
理事会	12月19日	骨子案の提出
第13回	12月27日	振り返り
第14回	1月25日	素案策定
第15回	2月5日	素案策定
第16回	2月26日	素案策定
第17回	3月1日	最終確認
理事会	3月5日	第三次経営計画の承認

2 生活困窮、社会的孤立等、困難を抱える人々への希望の架け橋づくり

(1) 生活福祉資金特例貸付利用者（世帯）への支援体制の構築と相談支援の実施

令和5年1月より償還開始となったが、国から支援が必要と考えられる利用者に対するフォローアップ支援の実施が求められた。債務の免除や猶予等の適用により、生活に困窮している利用者の負担軽減と生活再建を図るとともに、利用者世帯が抱える様々な生活課題の解決に向け、各市町社協との協働により、課題解決に向けフォローアップ支援を進めた。

①フォローアップ支援

【支援体制】

相談支援チーム4名、調査チーム24名、コールセンターチーム4名 計32名

【訪問活動実績】

訪問件数	15,307件	
訪問面談数	4,023件	26.3%
折電・架電面談数	1,848件	12.0%
不在	8,445件	55.2%
その他（転居等）	991件	6.5%

②特例貸付免除・猶予の相談会

【1回目】

実施日 令和5年7月29日（土）

会場 COZY TOWN

参加者 30名

【2回目】

実施日 令和6年3月2日（土）

会場 県立長寿社会福祉センター

参加者 20名



【特例貸付利用者の声】

- ・コロナで生活が大変だった時に、特例貸付が利用できて、とても助かりました。
- ・（フォローアップ 訪問時にその後の生活を伺った時に）貸付が終わったあとも生活を気にかけていただいていた。

(2) コロナ特例貸付利用者に対する福祉的支援に関する調査研究

当該貸付制度の意義・課題を確認すること、ならびに生活福祉資金貸付事業・フォローアップ支援への取組みを検討することを目的とした調査を実施した。

- ・調査対象：特例貸付総合支援資金（初回）利用者の中から無作為に抽出した 10,227 名
- ・調査方法：郵送による調査票を送付、記入後返送・Web フォームによる回答
- ・調査期間：10月20日～11月30日
- ・回収率：有効回収数 3,299 件（回収率 32.26%）

【調査結果概要】

- ・84.9%が今後の返済に不安を感じている。償還猶予中の人の74.4%が「とても不安」と回答。
- ・等価世帯月収10万円未満の人が、コロナ前では27.5%、コロナ禍では65.3%、現在では42.9%と回復しつつあるが、コロナ禍前ほどには戻っていない。
- ・回答者の75.3%が貸付申込時は「とても厳しい」家計状況であった。現在は改善しているものの、依然として40.5%が「とても厳しい」と回答。
- ・貸付申込時の困りごとは「仕事に関すること」（74.6%）、「住まいに関すること」（43.9%）、「病気や障害、介護に関すること」（43.8%）が多かった。

(3) 支援者が現場目線で学び交流する場「縁つむぎ会議」の運営

包括的支援体制の整備が進んでいない市町において、支援体制の整備・充実がはかられるよう、市町の情報交換や他府県での事例の共有等を行った。また、多機関協働事業者や地域づくり支援等各事業を担う担当者や関係者に向けた研修を実施することで市町の取り組みを後方支援し、全県域での包括的・重層的支援体制の整備推進をはかることを目的に開催した。

【第1回】

テーマ 重層的支援体制整備事業にかかる勉強会

開催日 令和5年6月28日(水) 13:00~15:10(オンライン)

内容 ①講演「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築と重層的支援体制整備事業」 講師 同志社大学社会学部 教授 永田 祐氏
②グループトーク・自己紹介・感想/永田先生や市町に聞いてみたいこと

参加者 64名

【第2回】

テーマ 専門性の強みを活かしたひきこもり支援について

開催日 令和5年10月31日(火)

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 ①実践報告「高島市における重層的支援体制整備事業を推進するために大切にしてきたこと」報告者 高島市役所 暮らし連携支援室 室長 清水 潤平氏
②実践報告「重層的支援体制整備事業の中でのひきこもり支援について」報告者 社会福祉法人 虹の会 アウトリーチ支援員 杉本 学士氏

参加者 57名

【第3回】

テーマ 令和5年度 滋賀県包括的・重層的支援体制整備事業推進事業

福祉をこえる！ 発想力とつながる力~重層的なしくみの中で共生の地域づくりを考える~

開催日 令和5年12月20日(水)

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 ①行政説明「地域共生社会の実現に向けて」報告者 厚生労働省 地域共生社会推進室 支援推進官 犬丸 智則氏
②講演「福祉をこえる！ 発想力とつながる力」講師 滋賀県立大学 地域共生センター 教授 鶴飼 修氏
③パネルディスカッション「重層的なしくみの中で共生の地域づくりを考える」(コーディネーター) 滋賀県立大学地域共生センター 教授 鶴飼 修氏
(パネリスト) 特定非営利活動法人 芹川の河童 代表 川崎 敦子氏
株式会社 SENSEMATE 代表 宮川 拓也氏
Café Ink MORIYAMA (合同会社Mitte 代表) 佐子 友彦氏
社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 副参事 山岡 伸次氏

参加者：43名

3 滋賀ならではの地域養護の推進と子ども・若者の希望の架け橋づくり

(1) つながり若者センターマザーボード、つながり若者センターコージータウンの運営

「つながり若者センターマザーボード」および「つながり若者センターコージータウン」の2センターを運営し、生きづらさを抱えた若者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

①対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

【つながり若者センターマザーボード相談支援実績】実支援者数 114 人

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計
	3,584 件	1,079 件	372 件	128 件	5,163 件

【つながり若者センターコージータウン相談支援実績】実支援者数 46 人

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計
	1,145 件	204 件	202 件	61 件	1,612 件

若者に対する相談・支援に加え、進捗会議を 12 回開催。

②対象者に関する「継続支援計画書」の作成

③居場所づくり事業の企画および実施

- i つな若キッチン 12 回実施。延べ 67 名参加。
- ii つな若ダイニング 11 回開催。延べ 85 名参加。
- iii つな若コージータウン食堂 12 回開催。延べ 112 名参加。
- iv OEKAKI 会 12 回開催。延べ 87 名参加。
- v モノづくり会 12 回開催。延べ 67 名参加。



④広報・啓発等の取組み

(2) 遊べる学べる淡海子ども食堂の推進

①子ども食堂運営者学びサポート事業

子ども食堂に関わる人や地域住民の学びを応援するための学びにかかる費用の助成。

- ・令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日に子ども食堂実施団体が、スタッフやボランティアに向けて開催する研修会等にかかる費用
- ・1 食堂あたり 1 万円上限（1 食堂あたり年間 1 回）

助成実績 10 件（12 団体）119,166 円

②みんな集まれ！子ども食堂フェスタ

開催日 令和 5 年 7 月 8 日（土）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 534 名（スタッフ含む）



③みんな集まれ！コージータウン子ども食堂フェスタ

開催日 令和 5 年 10 月 28 日（土）

場 所 アル・プラザ彦根 COZYTOWN

参加者 461 名（スタッフ含む）

④地域における子ども食堂等の“居場所”の大切さを学ぶ研修会・交流会（4 回）

彦根会場、草津会場、湖南会場、近江八幡会場 合計 90 名参加

⑤子ども食堂交流会

開催日 令和 6 年 1 月 17 日（水）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 14 名

内 容「遊べる・学べる淡海子ども食堂って?」「子ども食堂自慢!」等

⑥新規立ち上げ子ども食堂の支援

新規立ち上げ子ども食堂（ネットワーク加入）	30 か所		
開設支援助成審査会	4回		
子ども食堂立ち上げ資金の助成（開設支援助成）	12 食堂	1 団体 10 万円	1,200,000 円

⑦子ども食堂安心・安全促進事業（子ども食堂保険加入促進事業）

ボランティア行事用保険	助成：60 件	766,568 円
ボランティア活動保険	助成：28 件	88,100 円

⑧子ども食堂等における物価高騰対策支援事業

（滋賀の子ども・若者のほほえむ力サポート事業うれしいことプラス1助成）

助成要件・令和5年12月21日から令和6年3月31日に「うれしい・たのしい体験」を子ども食堂等において提供すること

- ・1団体あたり3万円上限（1回あたり1万円、3回まで対象）
- ・実施団体 80 団体（子ども食堂 76 か所、フリースペース 4 か所） 2,340,000 円
3回実施：74 団体、2回実施：4 団体、1回実施：1 団体

(3) 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

①子どもの笑顔のスポンサーから子ども食堂への“ほほえむ力サポート” マッチング事業

i 企業・団体および個人のスポンサー登録の推進

新規：32 件（団体 12 件、個人 20 件）
合計：586 件（団体 443 件、個人 143 件）

ii はぐくみ基金への寄付の推進

- ・はぐくみ基金への寄付収納（物品等金額換算分を含む） 34,275,173 円
- ・団体寄付 191 件 個人寄付 87 件 合計 278 件（延べ数）

iii スポンサーからのサポート(提供)に係るマッチング

- ・企業による県内店舗でのフードドライブとのマッチング
- ・企業からの定期的な寄付(食品・物品)によるサポート 6 企業
- ・フードパントリーの開催 全6回

iv スポンサー等と活動者のマッチングの推進

- ・個人ボランティアサポーターと子ども食堂のマッチング 16 名

②通信の発行、ホームページ等による広報啓発活動の推進

ホームページ、Facebook、Instagram、公式 LINE アカウントを活用した情報配信

4 滋賀の福祉人のすそ野の拡大と福祉滋賀のリーダー育成

(1) 分野共通の「滋賀の福祉人」研修実施

・社会福祉共通研修

i 新任期（原則3年未満）	(3日×3コース)	[修了者数] 141人
ii 中堅期（原則5年未満）	(3日×1コース)	[修了者数] 104人
iii チームリーダー	(3日×1コース)	[修了者数] 64人
iv 管理職	(2日×1コース)	[修了者数] 43人

※「滋賀の福祉人」とは

「滋賀の福祉人」とは、支援の知識や技術を支える基本となる支援者としての高い倫理観や価値観を有し、それらを土台に据えて主体的に日々の福祉実践を行う人材をいう。

(2) えにしアカデミーの運営

①第1期生修了式の開催

開催日 令和5年9月13日(水)

場 所 ホテルボストンプラザ草津びわ湖

出席者 78名(うち第1期修了生27名)



②第3期生入学式の開催

開催日 令和5年10月4日(水)

場 所 草津市立市民交流プラザ(フェリエ南草津5階) 大会議室

出席者 38名(うち3期生入学生15名)

③講義等の実施

i 第2期後期(令和5年4月~令和5年9月)

オンライン講義 15回

集合講義 2回

ii 第3期前期(令和5年10月~令和6年3月)

オンライン講義 17回

集合講義 3回



④ゼミの実施

i 第2期後期(令和5年4月~令和5年9月)

・2年生(1期生)ゼミ 28名の学生が8つのゼミクラスに分かれて月1回~2回実施

・1年生(2期生)ゼミ 5回実施

ii 第3期前期(令和5年10月~令和6年3月)

・2年生(2期生)ゼミ 15名の学生が5つのゼミクラスに分かれて月1回~2回実施

・1年生(3期生)ゼミ 5回実施

⑤2期生修了論文構想発表会の開催

令和6年1月5日、キラリエ草津にて、修了論文の章立て(各章のテーマ)などについて発表を行った。出席者 37名(うち2期生14名含む)

【えにしアカデミー修了者の声】

- ・えにしアカデミーの講義では、最新の制度政策や動向を学びました。
- ・毎回講義後に行われるグループ討議では、職種や種別の違う施設や事業所の学生との意見交換を通じて、自分の意見を表現すること大切さを学びました。
- ・えにしアカデミーを通じて、組織や立場を超えたつながりを作ることができたのは、福祉人としての財産となりました。
- ・自分の実践を修士論文という形にすることで、実践を文字にすることの大切さや、伝えることで実践の広がりを感じることができました。

(3) 「ふく楽Café」を通じた滋賀の福祉人のつながりづくり

研修センター実施「ふく楽Café」

滋賀の福祉人研修のプログラムに組み込み、受講者同士の横のつながりを作り、仕事に対するモチベーションアップと職場定着を目的に実施した。

開催日	研修区分	会場	参加者数
令和5年6月29日(木)	新任期	長寿社会福祉センター	71名
6月26日(月)	新任期	コージータウン	37名
8月21日(月)	中堅期	長寿社会福祉センター	102名
10月26日(木)	新任期	長寿社会福祉センター	43名



【参加者の声】

- ・初めて会った人とも心を一つに頑張れるんだなあ、と嬉しくなりました。これまでの回よりもよりグループの人とたくさん話ができて良かったです。またどこかで一緒にお仕事をしたいです。
- ・とても学びに繋がりました。様々な福祉の方と学びを共有できて本当に貴重な時間となりました。
- ・面白かったです。レクは、うちの施設でもしようと思います。また、このような研修に参加できたらうれしいです。
- ・様々な仕事をされている方と話せたのがとても貴重な体験になりました。ひとくりに福祉と言えども仕事はとても幅が広く勉強になりました。

(4) 「滋賀の福祉人」研修の充実にむけた検討

滋賀の福祉人研修の充実のために、研修カリキュラム検討委員会を設置し、検討会を実施した。令和5年度は2回実施。

5 COZY TOWNの場を生かした“ごっちゃん事業”の実施による縁の架け橋づくり

(1) コージータウンカフェの運営

多様な人が交流する居心地の良い空間「コージータウンカフェ」において、本会が運営する特色を生かし、「つな若コージー食堂」「おやこサロン」等、カフェを活用したイベントや、SLEC事業等とリンクした企画の実施を推進した。

・来客数と売上

年月		来客数(名)	売上(円)
令和5年	4月	1,502	729,720
	5月	1,507	725,890
	6月	1,488	675,360
	7月	1,887	829,350
	8月	1,643	745,750
	9月	1,520	680,050
	10月	1,602	716,750
	11月	1,408	622,550
	12月	1,278	543,900
	令和6年	1月	1,300
2月		1,427	612,100
3月		1,689	697,950
合計		18,251名	8,137,320円



(2) 事業の連携・複合による“憩いと相談の場”および“ごっちゃん企画”の推進

駅近・商業施設・カフェというコージータウンの持ち味を生かした多部署、多団体との協働事業を展開した。

①おやこサロン（子育て支援）＜小嶋・さざなみ×つなわか×カフェ＞ 毎週金曜開催

②若者食堂（若者の居場所活動）＜さざなみ学園×つなわか×カフェ＞

第1 金曜日（夜の居場所活動）

第2 火曜日（イラスト活動、昼間）

第4 木曜日（創作活動）

③こころと身体の発育サロン（心理士による教育相談）＜さざなみ学園×つなわか＞

毎月第4 火曜日

④特例貸付猶予・免除の手続き相談会＜修学・生活資金課×コージータウン推進課＞ 7/29

⑤福祉用具の展示会＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根×P ネット＞ 6/8～9、3/6～7

⑥インスタントシニア体験＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根×P ネット＞ 12/11

⑦子ども食堂フェスタ in コージータウン

＜地域福祉課×子ども食堂×えにし会の会×スポンサー企業×アル・プラザ彦根＞ 10/28

⑧「カモミールの部屋」の開催＜地域福祉課×コージータウン推進課＞ 12/15

⑨コージータウンフェスタの開催＜コージータウン内部署＞ 12/9～12/16

⑩バリアフリー映画会＜(社福)グローと協働＞ 毎月1回（8月のみ2回開催）

6 「ひたすらなるつながり」の具体化に取り組む職員の育成

人材育成基本方針に基づき、階級に応じた職務遂行能力の向上の為、各種研修により職員の資質向上を図った。令和5年度より現場目線・当事者目線を養うために新たに施設現場研修を実施した。

①施設現場研修

2名（救護施設、保育園）

②内部研修

新任研修、ハラスメント・人権研修、交通安全研修、専門研修（発達障害の理解）

③法人内事業利用

滋賀の福祉人研修、市町社協会長会中間管理職研修、滋賀県社会福祉学会、えにしアカデミーへの派遣

④外部研修

全社協会計実務講座、全社協中堅職員研修会、部落解放研究滋賀県集会

総務課

1 理事会、監事会、評議員会等の開催

(1) 理事会

<第1回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和5年5月19日（金）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1)理事の補充選任に伴う、評議員に提出する候補者の選任について

<第2回>

開催日 令和5年6月6日（火）

- 議 題
- (1) 令和4年度 事業報告（案）について
 - (2) 令和4年度 一般会計収支決算（案）について
 - (3) 令和4年度 生活福祉資金会計収支決算（案）について
 - (4) 第37期理事・監事候補者の選任について
 - (5) 第35期評議員の補充に伴う候補者の選任について
 - (6) 令和5年度第2回評議員会（定時評議員会）の招集について

<第3回>

開催日 令和5年6月23日（金）

- 議 題 (1) 会長、筆頭副会長及び常務理事の選定について

<第4回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和5年8月18日（金）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1)評議員の補充選任に伴う、評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任について

<第5回> 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…令和5年10月26日（木）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容

(1) 令和5年度資産運用計画の変更について

<第6回>

開催日 令和5年12月19日（火）

- 議 題
- (1) 令和5年度 一般会計第一次収支補正予算（案）について
 - (2) 給与規程の一部改正について

<第7回>

開催日 令和6年3月10日（金）

- 議 題
- (1) 第三次経営計画（案）について
 - (2) 令和6年度 事業計画（案）について
 - (3) 令和6年度 一般会計収支予算（案）について
 - (4) 令和6年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について

- (5) 令和6年度 資産運用計画（案）について
- (6) 「事務局の組織および運営に関する規程」の一部改正について
- (7) 「給与規程」の一部改正について
- (8) 役員等賠償責任保険契約の締結および本会の保険料負担（案）について
- (9) 令和5年度 第3回評議員会の開催について

(2) 監事会

<第1回>

開催日 令和5年5月22日（月）

- 議 題 (1) 事業報告等（理事の業務執行状況、法人の業務執行状況）の監査
 (2) 計算関係書類及び財産目録の監査

(3) 評議員会

<第1回>決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…令和5年5月30日（火）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任について

<第2回>

開催日 令和5年6月23日（金）

- 議 題 (1) 令和4年度 事業報告（案）について
 (2) 令和4年度 一般会計収支決算（案）について
 (3) 令和4年度 生活福祉資金会計収支決算（案）について
 (4) 第37期理事・監事の選任について

<第3回>

開催日 令和6年3月26日（火）

- 議 題 (1) 令和6年度 事業計画（案）について
 (2) 令和6年度 一般会計収支予算（案）について
 (3) 令和6年度 生活福祉資金会計収支予算（案）について

(4) 評議員選任・解任委員会について

<第1回> 決議の省略

- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和5年6月13日（火）
- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について

<第2回> 決議の省略

- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる日…令和5年9月5日（火）
- ・評議員選任・解任委員会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 第35期評議員の補充選任について

2 県立長寿社会福祉センターの管理運営

高齢者の健康と生きがいづくりを推進し、明るく活力ある長寿社会づくりを実現することを目的・役割として設置されるセンターを、誰もが利用しやすい施設となるよう努めるとともに、その適切な管理運営に努めた。

また、設置者の滋賀県とともに、施設設備の経年使用に伴う老朽等へ計画的に対処した。

(1) 特定施設の利用実績

施設を、下表のとおり約57,600名の方に利用いただいた。

<特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	187	206	267	273	227	187	224
人数(名)	17,723	3,783	2,550	2,683	4,065	2,230	4,040
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数(件)	325	360	275	268	277	3,030	
人数(名)	2,592	9,845	2,698	2,523	2,890	57,622	

(2) 特定施設の稼働実績

対前年度比で8.7ポイント稼働率が増加し(令和4年度稼働率 63.8%)、施設の有効活用の目標である62.7%を9.8ポイント上回るなど、コロナウイルス感染拡大以前の状況に戻りつつある。

<特定施設の本年度稼働率>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	56.7%	65.3%	81.4%	81.8%	70.2%	45.7%	72.9%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	85.4%	86.6%	75.9%	72.5%	75.6%	72.5%	

(3) センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、その適正な保全と維持管理に努めた。

- ① 建築保全業務の一部委託実施
- ② 清掃業務の委託実施
- ③ 施設管理業務の委託
- ④ 電気およびガスの供給にかかわる業務委託
- ⑤ 一般廃棄物および産業廃棄物の適法かつ適切な処分の実施
- ⑥ 機密文書の処分の実施
- ⑦ 敷地内除草作業
- ⑧ 本館棟非常灯バッテリー交換
- ⑨ 本館エレベーター他誘導灯蓄電池修理
- ⑩ 照明器具(蛍光灯・安定器)交換修理

- ⑪ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施（各種消毒用機材の配備・来館者用受付電話の設置など）
- ⑫ 男性用多目的トイレへのサンタリーボックスの設置
- ⑬ 敷地内枯れ木伐採
- ⑭ 特例貸付相談支援室開設に伴う施設改修工事（出入口扉・電話、電気配線工事・窓の設置等）
- ⑮ 法定設備点検（6月17日～18日・12月9日）の実施
- ⑯ エレベーター、自動ドアの定期点検・受水槽清掃（6月3日）の実施
- ⑰ 非常用発電機疑似負荷試験実施（5月13日）
- ⑱ 漏電ブレーカー交換（5月20日）
- ⑲ 本館棟外壁および屋上防水工事、雨樋塗装等の実施（7月26日～1月21日）
- ⑳ 陶芸用「電気窯」の更改（10月26日～27日）
- ㉑ 1階多目的トイレ改修工事（11月13日～20日）
- ㉒ センター受電設備（引き込み線）事故対応（12月17日～20日）
- ㉓ 介護研修室・介護実習室・図書室のカーテン洗浄
- ㉔ 大教室の水銀灯LED化工事（1月13日～18日）
- ㉕ 館内監視モニターの修繕工事（2月14日） 他

（4）消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保並びに財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施。
実施日：令和5年8月9日（水）、令和6年2月13日（火）

（5）消防設備に関する点検等の実施

防火対象物点検資格者による防火対象物点検
点検日：令和6年1月12日（金）

3 「ひたすらなるつながり」の具現化に取り組む職員の育成・職員研修の実施

人材育成基本方針に基づき、階級に応じた職務遂行能力の向上の為、下記の通り、新規採用職員に対する職場内部研修の実施、階層別研修等への参加により、職員の資質向上を図った。

（1）令和5年4月入職職員および令和4年度中、令和5年度中採用職員対象研修

開催日 令和5年4月6日（木）
6月9日（金）
10月5日（木） 延べ参加：37名

（2）えにし滋賀の福祉人研修

【中堅期】	参加	2名
【チームリーダー】	参加	2名
【管理職員】	参加	2名

（3）全社協研修

①社会福祉法人会計実務講座 上級コース	参加	1名
②社会福祉協議会中堅職員研修会	参加	1名

- (4) えにしアカデミー 2期生 1名
3期生 2名
- (5) 発達障害理解の研修 開催日 令和5年7月5日(水) 参加 43名
- (6) 施設現場研修 参加 2名
①ひのたに園 令和5年11月8日(水)、9日(木)
②明照保育園 令和5年11月21日(火)、22日(水)
- (7) ハラスメント研修 開催日 令和5年11月20日(月) 参加 55名
- (8) 中間管理職研修(滋賀県市町社会福祉協議会会長と共催)
開催日 令和5年12月13日(水) 参加 12名(内5名県社協から参加)
- (9) 交通安全研修 開催日 令和6年1月23日(火) 参加 90名
- (10) 部落解放研究第31回滋賀県集会
開催日 令和6年2月17日(土) 参加 10名

4 民間福祉事業・活動の振興

(1) 県社会福祉協議会会長表彰

開催日 令和5年11月10日(金)

会場 ホテルニューオウミ

<被表彰者>

- ・民生委員児童委員…4名
- ・社会福祉施設、社会福祉事業、老人保健施設を運営する法人の役員等…2名
- ・社会福祉施設、社会福祉事業職員、介護老人保健施設の現業職員…116名
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の役員等…7名
- ・社会福祉協議会、社会福祉関係団体等の職員…37名
- ・ボランティア(個人)…3名
- ・ボランティアグループ…27団体
- ・福祉活動推進校…1校

<感謝>

- ・寄付39件 37団体 個人2名
- ・地域福祉の推進に特に貢献している社会福祉法人または団体 2団体

なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。

<本会から推薦を行い受賞された内訳>

民生委員児童委員功労者5名、社会福祉施設功労者5名、社協・団体功労者7名、
永年勤続功労者11名、社会福祉協議会優良活動1社協

(2) 社会福祉法人・施設との協働

①滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による予算要望活動の実施

市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、令和6年度に向けた社会福祉関係予算要望及び提案を協働で行った。

要望先	実施日	場所
自由民主党滋賀県議会議員団	令和5年6月16日(金)	滋賀県庁2階 議員室
滋賀県(健康医療福祉部長)	令和5年8月30日(金)	滋賀県危機管理センター
チームしが 県議団	令和5年8月24日(木)	滋賀県庁2階 第5委員会室

②社会福祉施設等関係団体との協働

「滋賀県児童成人福祉施設協議会」および「滋賀県社会福祉法人経営者協議会」の事務局受託により各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

③他団体が実施する助成事業への協力

- ①ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
- ②滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
- ③オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
- ④大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- ⑤24時間テレビ「福祉車両贈呈」への推薦協力
- ⑥滋賀トヨタ自動車株式会社・ネットトヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車輦贈呈への推薦協力
- ⑦「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
- ⑧財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力

(3) 滋賀県善意銀行の運営

県域で実施される民間団体等の地域福祉の向上を図る活動への支援のため、「滋賀県善意銀行」として、寄付・預託の受入れと助成を行った。

① 寄付・預託の受入れ

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス 車椅子2台
 滋賀県グラウンド・ゴルフ協会 車椅子2台
 関西遊技機商業組合 車椅子5台、クッション5台
 滋賀県宅地建物取引業協会 青年部会 車椅子10台
 株式会社平和堂 衣料品(肌着・トレーナーなど)・ランドセル・ゲーム機等

② 助成

近畿児童福祉施設スポーツ大会 50,000円
 特定非営利活動法人滋賀県精神障害者家族会連合会 100,000円

(4) ふれあい基金の運営

ボランティア・市民活動の促進と振興の支援を図るため、「ふれあい基金」として、寄付・預託の受入れを行った。

① 寄付・預託の受入れ

社会福祉法人汀会 80,000円(能登半島地震支援)
 社会福祉法人あすなろ福祉会 600,000円(能登半島地震支援)

(5) 滋賀県保育協議会との縁架け橋協働プロジェクトの実施

①男性保育者プロジェクト企画会議の開催 2回

②学習&情報交流会の開催

	日	会場	参加者数	内容
第1回	8/30	長寿センター	48名	運動あそび、情報交流会
第2回	11/24	エール(株)	43名	保育遊具講座、情報交流会
研修	1/31	キラリエ草津	11名	調理実習

③子ども食堂フェスタへの参画

(6) 縁特別会員の広報および会員の拡大、基金の増強

滋賀の縁創造実践センターの実践を支える新たな会員制度である「縁特別会員」制度の周知及び会員加入促進のため、広報誌やホームページ等での広報等を行った。

○縁特別会員数

	団体	社会福祉法人	企業	個人	賛助	合計
会員数	17	83	0	20	2	122

5 ひたすらなるつながりの情報発信

(1) 広報誌「季刊ひたすらなるつながり」の発行

〈別冊〉 令和5年6月発行 4,000部

特集 「滋賀の福祉と滋賀県社協」過去から現在、そして未来へ

〈第11号〉 令和5年11月発行 4,000部

特集 福祉の仕事大辞典

〈第12号〉 令和6年2月発行 4,000部

特集 コロナ禍を経て共に生きる社会をどう創るか

(2) ホームページ等を活用した情報の発信

ホームページを活用し、本会事業に関する特例貸付情報等の緊急や最新のお知らせ、研修等事業の情報はじめ、本会の法人理念、経営計画、財務情報、寄付情報等を広く情報発信した。

本会の発信力を高めるため、facebook等を各部署で週ごとに担当を決め、活動についてSNSで積極的に発信した。

6 民生委員児童委員委託研修の実施

(1) 人権研修【集合研修+動画配信+DVD貸出】

開催日 集合研修：令和5年7月4日(火) 14:00~16:15

会場 滋賀県男女共同参画センター(G-NET しが)

内容 講義「LGBTの基礎知識」～性の多様性を考える～

講師 Life journey 代表

LGBT講演家 藤原 直氏

参加者 202名

動画配信 配信期間 令和5年8月15日(火)~令和5年11月15日(水)

再生回数 337回

DVD貸出 各地域・個別研修が可能となるようDVDを作成し、19市町の各市町民児協
に対し貸出を行った。(複製不可仕様)
貸出期間 令和5年8月15日(火)～令和5年11月15日(水)

(2) 民生委員・児童委員指導者(会長)研修【集合研修】

開催日 令和6年1月12日(金) 13:30～15:40
会場 滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
内容 コーディネーター 龍谷大学社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口 浩次氏
事例発表
① 推薦方法の工夫
発表者: 竜王町民児協連 会長 小林 江里子 氏
② なり手不足検討委員会(NBK)の取組みについて
発表者: 大津市民生委員児童委員協議会連合会 会長 山川 すゑ子氏
大津市民生委員児童委員協議会連合会 理事 平尾 信和氏
③ ICT活用に向けて
発表者: 守山市民生委員児童委員協議会 会長 山本 なお栄氏
グループ討議
参加者 134名

(3) 主任児童委員研修【集合研修】

開催日 令和6年2月29日(木) ※午前、午後の2回に分けて開催【入替制】
午前の部: 大津市・近江八幡市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市
以上7市
午後の部: 彦根市・長浜市・草津市・高島市・東近江市・米原市・日野町
竜王町・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町 以上6市6町
会場 滋賀県立男女共同参画センター(G-NETしが)
内容 進行
滋賀県民生委員児童委員協議会連合会 主任児童委員連絡会
委員長 中井 洋子氏
事例発表
① 地域の方々とのかかわりを大事にしながらの活動
発表者: 大津市長等地区 主任児童委員 馬場 典子氏
② 学校とのかかわりについて
発表者: 東近江市愛東地区 主任児童委員 田村 京子氏
③ 主任児童委員への期待・よせる思い
発表者: 滋賀県教育委員会SSW・SSV
滋賀県子ども・青少年局家庭支援推進室
社会福祉士 上村 文子氏
グループ討議
参加者 232名 (午前:103名 / 午後:129名)

(4) 児童委員研修【集合研修+動画配信+DVD貸出】

開催日 集合研修：令和5年8月8日（火）14:00～16:00

会場 滋賀県立男女共同参画センター（G-NET しが）

内容 講義「困難を抱える子の多様な地域支援のあり方」

～夕食・夜を支えるフリースペースと朝ごはんプロジェクト～

滋賀県教育委員会SSW・SSV

滋賀県子ども・青少年局家庭支援推進室 ヤングケアラーコーディネーター

社会福祉士 上村 文子氏 参加者 203名

動画配信 配信期間 令和5年9月20日（水）～令和5年12月20日（水）

再生回数 305回

DVD貸出 個別研修等への対応のためDVDを作成し、各市町民児協に対し貸出を実施

貸出期間 令和5年9月20日（水）～令和5年12月20日（水）

(5) 新任民生委員・児童委員研修【集合研修+動画配信+DVD配布と貸出】

開催日 集合研修 令和5年9月7日（木）※午前、午後の2回に分けて開催【入替制】

午前の部：10:00～12:15

大津市・近江八幡市・草津市・守山市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市
以上8市

午後の部：14:00～16:15

彦根市・長浜市・高島市・東近江市・米原市・日野町・竜王町
愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町 以上5市6町

会場 シライシアター野洲（野洲文化ホール）

内容 講義「民生委員のやりがい 一人で抱え込まない工夫」

泉恵造研修企画工房

工房長 泉 恵造氏

参加者 901名（午前：485名 / 午後：416名）

動画配信 配信期間 令和5年10月25日（水）～令和6年1月31日（水）

再生回数 606回

DVD貸出 各地域・個別研修が可能となるようDVDを作成し、19市町の各市町民児協
に対し貸出を行った。（複製不可仕様）

貸出期間 令和5年10月25日（水）～令和6年1月31日（水）

(6) ICT研修【動画配信+DVD配布】

動画配信 配信期間 令和5年8月22日（火）～より配信（現在も配信中）

再生回数 218回【パソコン編115回/スマートフォン編103回】

DVD配布 各地域・個別研修が可能となるようDVDを作成し、19市町の各市町民児協
に対し配布した。（複製可仕様）

配布先 各市町民児協事務局 19カ所

修学・生活資金課

1 生活福祉資金貸付事業・要保護世帯向け不動産担保型生活資金および臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施

低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の発生による収入の減少や失業等により、生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯に、当面の生活費に関する資金需要に対応するため特例貸付を実施した。(特例貸付受付は令和4年9月終了)

令和4年6月より、緊急小口資金・総合支援資金(初回)と令和5年6月より総合支援資金(延長)の償還免除手続きがそれぞれ開始になり、その後償還猶予手続き開始、令和5年1月より緊急小口資金・総合支援資金(初回)、令和6年1月より総合支援資金(延長)の償還開始となった。

(1) 特例貸付実績 (令和2年3月～令和4年9月)

貸付種類	債権数	貸付額(千円)
緊急小口資金	20,809	3,988,631
総合支援資金(初回)	18,696	9,814,686
総合支援資金(延長)	7,986	4,206,980
総合支援資金(再貸付)	11,539	6,086,560
合計	59,030	24,096,857

※ 概算世帯数 21,800 世帯

(償還免除・償還開始に向けた手続き)

対象債権数 47,491 件(約 21,800 世帯)

令和5年6月 償還(返済)免除申請に関する案内発送

7月 督促状送付

次年度免除申請に関する案内発送

特例利用者向け相談会(コージータウン)

9月 市町社協事務局長会議

市町社協特例貸付担当者会議

10月 居住地調査

11月 猶予期間延長のお知らせ

12月 償還(返済)開始のお知らせ発送

猶予先への総合(延長)分の手続きのご案内

令和6年1月 市町社協特例貸付担当者会議

3月 特例貸付利用者向け相談会(長寿センター)

(令和6年3月31日債権状況)

(金額：千円)

債権状況	債権数	貸付金額	概算世帯数	割合
対象債権	47,491	18,010,297	21,800	
① 免除	17,966	6,814,010	8,265	37.8%
② 猶予	1,834	695,890	891	3.9%
③ 状況不明	9,630	3,688,231	4,850	20.3%
④ 返済対象	16,505	6,290,466	8,645	34.8%
⑤ 繰上返済	692	185,480	526	1.44%
⑥ 債務整理	864	336,220	399	1.8%

- ・ 特例貸付自己破産

令和2年度	21件	4,050千円
令和3年度	44件	19,700千円
令和4年度	117件	44,700千円
令和5年度	150件	61,401千円

- ・ フォローアップ支援調査訪問活動実績

フォローアップ支援事業を推進するため、新たに特例貸付相談支援室を設置し、相談支援チーム4名、調査チーム24名、コールセンターチーム4名を配置した。

フォローアップ支援の具体的な取り組みは、調査チームによる戸別訪問による生活状況の聞き取り、コールセンターチームによる、免除・猶予等の手続きや問い合わせ対応、また、訪問結果をもとに支援の要否を検討し、急を要する案件は相談チームから市町社協担当者へ電話連絡し対応を相談している。

訪問実績	15,307件	(100.0%)
訪問面談	4,023件	(26.3%)
折電・架電面談	1,848件	(12.0%)
不在先	8,445件	(55.2%)
その他(転居等)	991件	(6.5%)

(2) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ
貸付決定額推移(本則) (千円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援	0	0	0	0	0	0
福祉資金	60	30,774	67	29,826	79	31,552
緊急小口	23	2,210	75	6,817	86	8,197
教育支援	299	279,496	273	258,186	198	221,997
要保護世帯不動産担保	3	17,862	2	10,472	0	0
臨時つなぎ	0	0	0	0	0	0
合計	385	330,342	417	305,301	363	261,746

(3) 滋賀県貸付審査等運営委員会（定例）の開催（毎月1回）

(4) 生活福祉資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ資金の債権管理

- ・借受人の状況把握と対応（居住地調査、督促、債務整理への対応、など）
居住地調査（年1回）、貸付残高のお知らせ（年2回）、督促状（年2回）
コンビニ払込票（毎月償還不能先）
- ・本則 自己破産 令和2年度 12人 12,480千円
（免責確定分） 令和3年度 43人 26,625千円
令和4年度 36人 32,498千円
令和5年度 8人 6,018千円

(5) 生活福祉資金担当者研修会及び学びの応援相談会の実施

令和5年6月15日 市町社協生活福祉資金実務者研修会実施

- ・貸付事業の流れとポイント
- ・貸付事業の制度概要と留意事項
- ・生活福祉資金の動向・償還について

令和5年10月9日 学びの応援相談会 講義形式

- ・「学び」に役立つ給付金・奨学金の紹介
- ・そこが知りたい質問コーナー
- ・田中れいか氏講演「いま、学ぶことが必要？」

(6) その他

長期滞留債権比率推移

長期滞留債権・・・償還（返済）開始以降、1年以上1度も償還（返済）がない債権（千円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健全債権	1,924,621	1,987,347	2,066,788
長期滞留債権	1,531,904	1,546,153	1,563,877
貸付合計	3,456,525	3,533,500	3,630,666
長期滞留債権比率	44.3%	43.8%	43.1%

【近畿府県特例貸付実績及び世帯数比率】

（ ）内は全国順位

都道府県	債権数	金額（千円）	全世帯数（件）	債権数/全世帯数
滋賀県	59,030	24,096,857	601,688	9.80（3）
京都府	115,200	47,581,828	1,233,229	9.34（4）
大阪府	493,260	198,291,185	4,433,664	11.13（2）
兵庫県	201,717	80,570,759	2,583,222	7.81（8）
奈良県	34,982	14,483,378	603,937	5.79（17）
和歌山県	32,012	13,006,989	442,544	7.23（12）

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し、就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立が図れることを目的とし貸付事業を実施した。

(1) 児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

新規貸付決定額推移

(千円)

貸付事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活支援費	5	7,200	5	5,350	6	7,850	8	14,100
家賃支援費	13	12,035	19	15,995	11	10,868	11	13,190
資格取得費	4	980	5	796	10	1,521	9	1,301
生活支援(ｺｯ)	11	2,460	6	3,000	0	0	0	0
家賃支援(ｺｯ)	1	420	2	768	0	0	0	0
計	34	23,095	37	25,909	27	20,239	28	28,591

(2) 児童養護施設退所等自立支援資金貸付事業の広報

つながり若者センターとの協働により、児童養護施設・自立支援ホーム等に在籍する子ども及び職員に対し制度の周知・説明ならびにつながり若者センター(マザーボード・コーギータウン)の居場所づくり・相談活動紹介を行った。

① 児童養護施設等・里親等支援者向け説明会の実施

対象者	施設職員・里親	
開催日・場所	令和5年6月25日	フォスタリング機関こぼと
	令和5年7月26日	淡海学園
	令和5年8月24日	鳥居本養護学校
	令和5年9月25日	中央家庭子ども相談支援センター
	令和5年11月17日	ファミリーホーム定期会合
	令和5年12月1日	鹿深の家
	令和5年12月21日	守山学園

② 児童向け説明会の実施

対象者	児童	
開催日・場所	令和6年1月23日	守山学園

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保育等の業務に従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。養成施設を卒業後、滋賀県内の施設等において保育業務に一定期間以上(修学資金5年、その他2年等)従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

保育新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育士修学	102	142,342	124	179,511	99	115,472	97	134,316
保育補助者雇上	6	57,439	2	9,561	2	17,714	2	17,635
保育料一部	62	11,467	74	16,735	84	18,608	76	17,467
就職準備金	42	14,674	51	19,039	67	24,597	30	10,444
子ども預かり	1	3	0	0	0	0	0	0
計	213	225,925	251	224,846	252	176,391	205	179,862

令和5年度保育士修学資金 新規受付養成校実績

	R2	R3	R4	R5		R2	R3	R4	R5
滋賀短期大学	16	26	22	19	龍谷大学短期大学	8	10	8	1
華頂短期大学	20	21	8	13	京都文教短期大学	11	8	2	7
滋賀文教短期大学	6	14	6	7	その他	35	31	38	39
びわこ学院大学短期	6	14	15	11	合計	102	124	99	97

(2) 保育士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	190	139,665	219	169,747	224	212,171	227	213,546

(3) 保育士修学等資金返還推移

(千円)

返還	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保育関連全体	523	42,651	479	27,607	611	33,731	462	38,010

(4) 保育士修学資金等貸付事業の広報

- ① 滋賀県保育協議会との連携による求職者への情報提供・就職フェア参加
令和5年10月28日(土) 琵琶湖ホテル
- ② 保育士養成校への制度説明(びわこ学院・滋賀文教短期・滋賀短期)
- ③ 県内の高校、保育所等への募集要項・チラシ配布

4 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

介護人材育成、確保及び定着を支援するため、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格取得を目指す学生に対しての修学資金貸付事業を実施した。全体的に貸付申請件数は減少基調にある中、返還者数は増加基調にある。業界内での介護人材確保に向けた職場環境の整備状況等の勤務環境はまだ課題にあると思われる。

これらの貸付金は、滋賀県内の施設等において介護等の業務に一定期間以上(修学資金5年、福祉系高校3年、その他2年)従事した場合は貸付金が免除となる。

(1) 介護福祉士修学等貸付の状況

介護新規貸付決定推移

(千円)

貸付事業名	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護福祉士修学	29	45,228	44	68,350	33	52,520
福祉系高校修学	15	4,920	1	300	1	300
実務者研修受講	147	24,714	108	17,896	82	12,712
介護人材再就職	17	5,823	23	7,940	16	5,647
介護分野就職支	15	2,828	25	4,853	14	2,746
障害福祉分野	4	654	4	786	9	1,666
福祉系返還充当	0	0	0	0	1	300
計	227	84,167	205	100,125	156	75,891

令和5年度介護福祉士修学資金新規受付養成校実績

	R3	R4	R5		R3	R4	R5
華頂社会福祉専門学校	11	17	10	京都医療福祉専門学校	3	5	4
びわこ学院大学短大学部	8	14	7	その他	2	6	8
京都福祉専門	5	2	4	合計	29	44	33

(2) 介護福祉士修学等資金返還免除推移

(千円)

返還免除	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	207	64,177	158	54,558	209	88,715

(3) 介護福祉士修学等資金返還推移

(千円)

返還	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
介護関連全体	193	9,661	173	10,051	244	15,012

(4) 介護福祉士修学資金貸付事業の広報

①県内の高校、施設事業者等への募集要項やチラシの配布

②弊会人材センターと協調し、人材確保に向けた広報と離職時の届出数（制度）増加に向けた取組

地域福祉課

(滋賀県ボランティアセンター)

(滋賀県災害ボランティアセンター)

(滋賀県権利擁護センター)

1 滋賀県社会福祉学会活動の推進

(1) 滋賀県社会福祉学会 第42回大会の開催

開催日 令和6年2月22日(木)

会場 県立長寿社会福祉センター

参加者 320人

開催方法 完全参集型

①自由研究発表 19題、実践報告 26題 全7分科会 45題

②奨励賞の授与

受賞者 4名

- ・「福祉の仕事になりたい職業ナンバー1にする～福祉のキラビトプロジェクト～」
一般社団法人 滋賀県老人福祉施設協議会 安田 愛梨氏
- ・「在宅化を進める地域づくり ～在宅サービス訪宅時の駐車場問題から見える地域理解の必要性～」
社会福祉法人 草津市社会福祉協議会 伊藤 美紗都氏
- ・「官民共創による児童虐待防止における取組の効果と課題② ～民生委員児童委員を対象とした児童虐待防止研修の効果および実施可能性の検証～」
日野町福祉保健課地域共生推進担当 鎌田 宗純氏
- ・「児童養護施設等退所者自立支援資金のあり方について」
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会 山田 沙世

2 縁創造実践に取り組む福祉人の育成と支援

(1) 支援者が現場目線で学び交流する場「縁つむぎ会議」の運営

包括的支援体制の整備が進んでいない市町において、支援体制の整備・充実がはかられるよう、市町の情報交換や他府県での事例の共有等を行う。また、多機関協働事業者や地域づくり支援等各事業を担う担当者や関係者に向けた研修を実施することで市町の取り組みを後方支援し、全県域での包括的・重層的支援体制の整備推進をはかることを目的に開催した。

<市町担当者会議>

日時：令和5年5月22日(月) 9:30～12:00

会場：滋賀県庁 北館5階B会議室

内容：①行政説明(生活困窮者自立支援制度の制度概要▽県内の状況について)

②取り組み事例報告

大津市福祉政策課 重層的支援推進室 淀氏・辻氏より報告
野洲市市民部 市民生活相談課 徳田氏より報告

③情報交換・共有

- ・各市町の報告
- ・事前アンケートに基づく意見交換

参加者：28名

【第1回】

テーマ：重層的支援体制整備事業にかかる勉強会

日時：令和5年6月28日（水）13：00～15：10（オンライン）

内容：①講演「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の構築と重層的支援体制整備事業」

（講師）同志社大学社会学部 教授 永田 祐氏

②グループトーク・自己紹介・感想／永田先生や市町に聞いてみたいこと

参加者：64名

【第2回】

テーマ：専門性の強みを活かしたひきこもり支援について

～重層的支援体制整備事業の中での支援～

（重層的支援体制整備事業第2回勉強会、ひきこもり支援者交流会）

日時：令和5年10月31日（火）9：30～16：30

会場：県立長寿社会福祉センター1階大教室

内容：①実践報告「高島市における重層的支援体制整備事業を推進するために大切にしてきたこと」

（報告者）高島市役所 健康福祉部 社会福祉課 暮らし連携支援室
室長 清水 潤平氏

②実践報告「重層的支援体制整備事業の中でのひきこもり支援について」

（報告者）社会福祉法人 虹の会 本部事務局地域貢献担当ふれホップ
アウトリーチ支援員 杉本 学士氏

※参加者同士のグループトーク+質疑含む

③参加者同士のディスカッション

④全体ディスカッション

参加者：57名

【第3回】

テーマ：令和5年度 滋賀県包括的・重層的支援体制整備事業推進事業

福祉をこえる！ 発想力とつながる力～重層的なしくみの中で共生の地域づくりを考える～

（第3回重層的支援体制整備事業にかかる勉強会・第2回市町担当者会議）

日時：令和5年12月20日（水）13：00～17：00

会場：県立長寿社会福祉センター1階大教室

内容：①行政説明「地域共生社会の実現に向けてーその人をど真ん中に より幸せを
応援するためにー」

(報告者) 厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室
支援推進官 犬丸 智則氏

②講演「福祉をこえる！ 発想力とつながる力」

(講師) 滋賀県立大学 地域共生センター 教授 鶴飼 修氏

③パネルディスカッション「重層的なしくみの中で共生の地域づくりを考える

(コーディネーター) 滋賀県立大学地域共生センター 教授 鶴飼 修氏

(パネリスト) 特定非営利活動法人 芹川の河童 代表 川崎 敦子氏

株式会社 SENSEMATE 代表 宮川 拓也氏

Café Ink MORIYAMA (合同会社Mitte 代表) 佐子 友彦氏

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 地域福祉課

副参事 山岡 伸次氏

参加者：43名

(2) えにしフォーラムの開催

滋賀県社会福祉学会 第42回大会シンポジウムと併せて開催

テーマ 「この社会を共に生きる～コロナ禍を経て考える今とこれから～」

【基調講演】

NPO 法人抱樸 理事長、東八幡キリスト教会 牧師 奥田 知志氏

【パネルディスカッション】

<コーディネーター>

龍谷大学社会学部現代福祉学科 教授 山田 容氏

<パネリスト>

医療法人杏華会 理事長、あかい家のこどもクリニック 院長 浅井 大介氏

社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会 地域福祉課 係長 中西 知史氏

NPO 法人抱樸 理事長、東八幡キリスト教会 牧師 奥田 知志氏

(3) 生活困窮者自立支援事業従事者研修の実施

生活困窮者自立支援法に基づく自立支援事業等の実施に当たり、多様で複合的な課題を有する生活困窮者への包括的な支援が適切に行えるような専門性を習得するための研修を実施した。県内の自立相談支援機関の初任者向けの研修を1回(3時間)、初任者を含めたすべての相談員向けの研修を2回(2日間)にわたって実施。主任相談支援員、相談支援員および就労支援員として配置されている者等を対象に、生活困窮者自立支援制度の理念と基本姿勢、地域の情報を伝えるとともに、受講者同士の交流を図ることなどを目的とした。

<前期研修>

- ・初任者向けにソーシャルワーカーの基本的な支援姿勢について、県独自の半日(3時間)にわたる研修を開催した。

日 時：令和5年6月16日(金)、13:30~17:00

会 場：滋賀県立長寿社会福祉センター2階 第2~4研修室

内 容：①行政説明(生活困窮者自立支援制度の制度概要▽県内の状況について)

②講義「支援員に求められるソーシャルワークの基本」

(研修講師) 同志社大学 社会福祉学部 教授 空閑 浩人氏

③参加者同士でのグループトーク

参加者：16名

<後期研修>

・2日間にわたり、集合形式で合計10.5時間以上の研修を開催した。

【1日目】

日時：令和5年10月5日(木) 10:00~16:30

会場：県立長寿社会福祉センター 大教室

内容：①行政説明(制度の概要と県内の状況について)

②報告「コロナ特例貸付利用者支援の現状と今後の予定」

(報告者) 滋賀県社会福祉協議会 副会長 谷口 郁美

③講義「支援員に必要なソーシャルワークの基本①」

④講義「支援員に必要なソーシャルワークの基本②」

(研修講師) 同志社大学 社会福祉学部 教授 空閑 浩人氏

⑤参加者のグループトーク+発表(講義の感想、悩み等について)

参加者：23名

【2日目】

日時：令和5年10月23日(火) 9:30~16:30

内容：①講義「相談支援と家計改善との連携~生活再生に向けて~」

(研修講師) グリーンコープ生活協同組合連合会

生活再生事業推進室長 行岡 道子氏

※参加者同士のグループトーク+質疑含む

②報告「大津市社協における生活困窮者自立相談支援の状況」

(報告者) 大津市社会福祉協議会 自立支援課長 山崎 晴美氏

(コーディネーター) 龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口 浩次氏

※参加者同士のグループトーク+質疑含む

③報告「コロナを経た生活困窮者支援の現場から」

(報告者) 長浜市役所 健康福祉部 社会福祉課 山内 克仁氏

(コーディネーター) 龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 特任教授 山口 浩次氏

※参加者同士のグループトーク+質疑含む

参加者：22名

(4) 生活支援コーディネーター研修の実施

<滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修>

日時：令和5年6月20日(火) 10:00~16:00

会場：県立長寿社会福祉センター/オンライン

内容：【事前課題】「生活支援体制整備事業基礎知識」動画配信(県説明)

【講義】「地域福祉の推進における生活支援コーディネーターの役割」

講師 武庫川女子大学 教授 松端 克文氏

【事例報告・グループワーク】「生活支援体制整備事業の進め方と役割」

事例報告者 山口県和木町役場 保健福祉課生活支援コーディネーター
茅原 史貴氏

参加者：会場 30名/オンライン 21名
(事務局) 推進委員6名 県2名 県社協2名

<フォローアップ事業>

(1) ヒアリング調査

①大津市 ②近江八幡市 ③東近江市 ④高島市 ⑤竜王町

(2) アドバイザー派遣事業

【第1回】

日 時：令和5年9月5日 12:30~16:00

会 場：長浜市役所

(長浜市) 長寿推進課 大塚氏、福永氏、山岸氏、間塚氏

(アドバイザー) 大東市 逢坂氏

(事務局) 滋賀県医療福祉推進課、滋賀県社会福祉協議会

(傍聴) 社会福祉法人しみんふくし滋賀 成瀬氏、NPO法人元気な仲間 谷氏

【第2回】

日 時：令和6年1月31日(火) 15:00~16:00 オンライン開催

内 容：生活支援コーディネーターに求められる役割~大東市の取組をとおして~

講師 株コーミン 逢坂 伸子氏

【第3回 事前打合せ】

日 時：令和6年2月7日(水) 15:00~16:00 オンライン開催

(長浜市長寿推進課) 山岸氏、福永氏、間塚氏

(事務局) 滋賀県医療福祉推進課、滋賀県社会福祉協議会

【第3回】

日 時：令和6年3月15日(金) 9:00~11:40 オンライン開催

参加者：長浜市長寿福祉課

(事務局) 滋賀県医療福祉推進課、滋賀県社会福祉協議会

(3) オンライン・カフェ

【第1回】

日 時：令和5年11月16日(木) 13:30~15:30 オンライン開催

内 容：【話題提供】「悩みをアイデアの種に日頃の悩みの共有と考え方のヒントを
見つけよう」

山口県和木町保健福祉課 第1層生活支援コーディネーター 茅原 史貴氏

参加者：5名 推進委員6名 (事務局) 県1名、県社協2名

【第2回】

日 時：令和6年1月16日(木) 13:30~15:30 オンライン (Zoom)

内 容：【話題提供】「生活支援体制整備事業」の状況

一般社団法人ケア SNAP たかしま 代表理事
社会福祉法人虹の会 本部事務局地域貢献ふれホップアウトリーチ支援
杉本 学士氏

一般社団法人 ケア SNAP たかしま 代表理事
社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 会長 西村 陽子氏
参加者：21名 推進委員3名 事務局県1名 県社協2名

<滋賀県生活支援体制整備事業推進会議>

【第1回】

日 時：令和5年5月16日（火）オンライン開催
内 容：基礎研修について企画検討、ヒアリング調査について 他

【第2回】

日 時：令和5年9月14日（木）10：00～12：00 オンライン開催
内 容：年間スケジュールについて
アドバイザー派遣をするフォローアップ事業と事務局で行うヒアリング調査について、
オンライン・カフェについて今年度の企画案について 他

【第3回】

日 時：令和6年3月22日（金）13：00～14：30 オンライン開催
内 容：令和5年度のふりかえり、令和6年度の予定について

(5) コロナ特例貸付利用者に対する福祉的支援に関する調査研究

緊急小口資金等生活福祉資金特例貸付が貸付利用者のどのような生活課題に対応できたのか等を明らかにするにより、当該貸付制度の意義・課題の確認ならびに生活福祉資金貸付事業・フォローアップ支援への取組みにつなげることを目的として調査を実施した。

調査結果から、特例貸付利用者の貸付制度に対する満足度は 91.3%と高いことや、その一方で 84.9%の人たちが今後の返済に不安を抱えていることなどが明らかとなった。

調査対象：特例貸付総合支援資金（初回）利用者の中から無作為に抽出した 10,227 名

調査方法：郵送による調査票を送付。記入後返送または Web フォームによる回答。

調査期間：10月20日～11月30日

回収率：有効回収数 3,299 件。効回収率 32.26%。

(6) 「フォーラムひたつな」の事務局機能

月1回の例会の中で、運営委員それぞれの「問題意識」を共有し合うこと、また、ゲストスピーカーに話題提供いただくことにより、それぞれの分野（障害・高齢・地域養護・貧困・支援者支援）での現場視点（リアリティ）の理解につながり、全体に共通する福祉課題を見出すことができた。

具体的には、「社会的孤立」「人間的つながり」「支援者の揺らぎ」「支援の難しい人が取り残される」テーマで、事業を推進していった。

3 社会福祉協議会職員の研修と交流（滋賀県市町社会福祉協議会会長会事務局）

(1) 社会福祉協議会職員の研修と交流

① トップセミナーの開催

日 時 令和5年8月1日（火）

参加人数 55名

内 容 「権利擁護支援における社協の役割～地権事業の政策上の位置づけ、事業の方向性～」

講 師 講師 日本福祉大学福祉経営学部(通信教育)教授

全国社会福祉協議会 元常務理事 渋谷 篤男氏

② 市町社協新任職員研修の実施

<1日目>

日 時 令和5年7月13日（木）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 <午前>グループワーク

「わたしのアクションプラン！」

「社協職員として大切にしたいこと」

<午後>接遇対応&仕事の進め方研修

株式会社しがぎん経済文化センター 河野 若菜氏

参加者 22名

<2日目>

日 時 令和6年2月13日（火）

場 所 近江八幡市総合福祉センター

内 容 <午前>講演「地域福祉における社会福祉協議会の役割について」

近江八幡市社会福祉協議会 事務局次長 重野 弘樹氏

<午後>グループワーク

「1年を振り返ろう！語り合おう！元気をもらおう！」

参加者 20名

③ コミュニティワーク基礎研修の開催

日 時 令和6年1月22日（月）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 ①講義Ⅰ「社会の情勢と地域福祉」

②講義Ⅱ「地域福祉と社会福祉協議会」

③演習Ⅰ「コミュニティワーク実践のプロセスの理解」

④演習Ⅱ「地域生活課題の把握から地域支援への展開」

講 師 武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文氏

報告者 高島市社会福祉協議会 地域福祉課 西村 一真氏

話題提供 高島市社会福祉協議会 地域福祉課 西村 一真氏

参加者 19名

④ 中間マネージャー研修

日 時 令和5年12月13日（水）

場 所 長寿社会福祉センター 大教室

内 容 組織の管理原則等、組織マネジメントの基本を学ぶ
講 師 パナソニック エレクトリックワークス創研株式会社
上席コンサルタント 中村 弘成氏

参加者 22名

⑤事務局長会議の開催

年間7回開催

内 容 特例貸付利用者に対するフォローアップ支援事業について
滋賀県地域福祉権利擁護事業について
市町社協地区担当制について
ダイハツ工業（株）滋賀（竜王）工場生産停止の影響について
能登半島地震にかかる近畿ブロックからの派遣要請について

⑥市町社協地域福祉部課長会議の開催

日 時 令和5年5月26日（金）13：30～15：30

会 場 県立長寿社会福祉センター 第1研修室

内 容 令和5年度の県社協体制について
地域福祉課の取り組み・連絡

⑦会長・事務局長合同会議

日 時 令和5年10月6日（金）14：30～16：30

会 場 明日都浜大津4階 ふれあいプラザホール

内 容 講演「地域福祉の現状と求められる社協の役割」
講師 佛教大学 金田 喜弘氏
報告 大津市社会福祉協議会の報告

4 地域福祉権利擁護事業の推進

(1) 生活支援員/新任職員研修会の開催

生活支援員や新しく自立生活支援専門員となった職員を対象に、実務を進める上で必要となる基本的な知識の習得や相談のきき方、アセスメント等を学ぶための研修を開催。

【1日目】令和5年5月24日（水）参加者 26名

内 容 講義1「地域福祉権利擁護事業について」
講義2「認知症の人の理解と支援について」
講義3「精神障害者の理解と支援について」

【2日目】令和5年5月30日（火）参加者 27名

内 容 講義1「知的障害者の理解と支援について」
講義2「権利擁護と相談の基本を学ぶ」
講義3「グループワーク」

【3日目】令和5年11月14日（火）参加者 16名

内 容 講義1「相談援助の基本について」
講義2「グループワーク」

(2) 地域福祉権利擁護事業 担当課長・専門員等担当者会議等の開催

- ・担当課長会議1回
- ・専門員会議2回

【1回目】令和5年9月22日(金) 参加者 20名

内容 「地域福祉権利擁護事業の成り立ちと課題について」
「担当者が抱えている課題について」

【2回目】令和6年1月30日(火) 参加者 26名

内容 「専門員など現場が抱えている10項目の課題について」

進め方 アドバイザーに学識経験者および弁護士を迎え、課題に対する対応を検討した

- ・近畿ブロック府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業・成年後見制度担当者会議への参画〔令和6年3月21日(木)〕

(3) 契約締結審査会の開催

令和5年度：1回開催

(4) 地域福祉権利擁護事業に対する相談支援等

権利擁護に関する相談に対して、その内容に応じて関係機関と連携し、支援のあり方等について協議を実施。

① 市町社協への支援(助言、訪問等)

- ・各市町社協の個別ケースへの相談を受け付け、助言を行った。(14件)
- ・運営適正化委員会が行う定期現地調査に同行した。

(大津市、長浜市、草津市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、甲良町、豊郷町)

② 各市町社協における契約状況等に関する集計

各市町社協における利用者種別ごとの相談援助件数等の集計と全社協への報告の実施

- ・契約件数(単位：人)

R4年度末	R5契約締結	R5契約終了	R5年度末
1,493	197	210	1,480

(5) 地域福祉権利擁護事業のあり方の検討

①目的

地域福祉権利擁護事業は、他の支援との分担や連携が難しい事例も少なくなく、加えて専門的人材の配置が困難等の課題に直面している。

このため、地域福祉権利擁護事業及び関連する権利擁護支援の諸事業の成り立ちと課題整理を行ったうえで、改めて、将来を見据えた地域福祉権利擁護事業のあり方について意見を交換し、今後の方向性と具体的な方策を検討するためプロジェクトを設置した。

②検討委員

10名(市町・県社協、市・県、成年後見関係団体、学識経験者)

③検討テーマ

ア. 地域福祉権利擁護事業の市町社協事業における位置づけについて

- イ. 市町の福祉施策における地域福祉権利擁護事業の位置付けについて
- ウ. 権利擁護支援の連続性と継続性の確保について
- エ. 県社協権利擁護センターの役割について

④検討経過

第1回 令和6年1月16日

- ・滋賀県における地域福祉権利擁護事業の成り立ちについて
- ・地域福祉権利擁護事業にかかる課題など意見交換について

第2回 令和6年3月12日

- ・検討テーマと検討の視点について

5 障害者の権利擁護の推進

(1) 障害者110番の運営

電話、面接による高齢者、障害者の権利擁護に関する相談対応の実施。

相談対象者	知的障害者	4件
	精神障害者	22件
	身体障害者	6件
	高齢者	8件
	その他	4件
	合計	44件

(2) 障害者虐待防止に関わる人材育成、啓発

障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のために県域における関係機関や団体、関係者等の協力体制の整備や支援体制の強化を図ることを目的に研修および啓発を行った。

① 行政職員・虐待防止センター職員対象研修会

障害者の権利擁護について学ぶとともに、新たに担当となった職員（管理職員を含む）が、法律の主旨や市町の権限・役割、相談通報を受けた際の流れ、具体的な対応方法等について理解することを目的に研修を実施。

開催日 令和5年5月22日（月） 令和5年8月28日（月） 計2日間

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 1日目：24名、2日目：15名

内 容 （1日目）

講義「障害者の権利擁護について」

講義「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」

講義「滋賀県の障害者虐待の現状と行政の役割について」

講義と演習「虐待対応の流れと虐待対応帳票類の活用について」

（2日目）

講義「障害者虐待防止対策における、市町村の権限と役割」

講義と演習「虐待対応の流れの実際について」

② 障害福祉サービス事業所施設従事者等対象研修会

障害福祉サービス事業所等の管理者やサービス管理責任者等を対象に、障害者虐待防止に関する基礎知識や障害者の権利擁護への意識啓発、虐待の防止のための組織・運営体制、障害特性にも配慮した支援方法について学ぶことを目的に研修を実施。

<南部会場>

開催日 令和5年12月14日（木）

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 51名

内 容 講義「障害者虐待防止法の概要と近年における動向等について」

講義「障害者虐待防止 ～より良い支援をするために～」

講義と演習「虐待防止のために組織として今後どのように取り組むのか」

<北部会場>

開催日 令和5年12月18日（月）

場 所 COZY TOWN（コージータウン）

参加者 43名

内 容 講義「障害者虐待防止法の概要と近年における動向等について」

講義「障害者虐待防止 ～より良い支援をするために～」

講義と演習「虐待防止のために組織として今後どのように取り組むのか」

≪講義配信≫

配信期間 令和5年12月22日（金）～令和6年3月20日（水）

方 法 オンデマンド配信

申 込 者 111名（91施設・20事業所）

内 容 講義「障害者虐待防止法の概要と近年における動向等について」

講義「障害者虐待防止 ～より良い支援をするために～」

③ 研修企画会議

・滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会コア会議を開催し、研修企画について検討。

(第1回)

日 時：令和5年7月12日（水）19：00～20：30

場 所：Zoomによるオンライン会議

(第2回)

日 時：令和6年3月7日（木）11：00～12：00

場 所：Zoomによるオンライン会議

・滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会（施設従事者向け）打合せ会議

日時：令和5年12月6日（水）15：00～16：15

場所：Zoomによるオンライン会議

④ 国研修参加者の派遣調整

国研修受講者の派遣調整を行った。さらに、研修受講者には施設従事者向け研修会において国研修内容を伝達研修として報告いただいた。

研修参加者2名（湖南圏域1名、湖北圏域1名）

⑤ 障害者虐待防止広報啓発事業

障害者虐待防止啓発リーフレット「障害者の虐待を防ぐために」を作成、配布

2,000部 各市町社会福祉協議会・行政へ配布

(3) 権利擁護支援にかかわる団体との連携協力

① 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターへの協力

主に下記委員会に委員として出席し、適宜情報提供および助言等を行った。

- ・長浜市成年後見・権利擁護センター(社協)運営委員会
- ・彦愛犬権利擁護サポートセンター運営委員会
- ・米原市権利擁護センター(社協)運営委員会
- ・成年後見センターもだま運営適正化委員会

② 関係機関会議への参画

- ・成年後見・権利擁護センター、成年後見制度に関わる団体等との会議等への参画
- ・障害者自立支援協議会事業部会への参画
- ・その他関係機関会議(無戸籍、要保護児童対策、自殺対策、再犯防止等)への参画

③ なんでも相談会への職員の派遣

- ・東近江圏域(1回)、高島市(2回)、彦愛犬圏域(1回)

④ 市町社協への情報提供

- ・全社協等の関係機関からの権利擁護支援体制整備や外部研修などの情報提供
- ・各市町社協の課題等に対する取り組み状況集約

6 女性のつながりサポート事業

困りごとや不安を抱える女性に対して、さまざまな団体や施設とともに、居場所の提供、生理用品の配布および相談の場づくりをおこなった。

また、居場所に参加されている方や協力団体を対象に実態把握調査をおこなった。

(1) 憩いと相談の場づくり

① 子ども食堂や保育園等の民間団体と協働で居場所を提供

協力団体数：子ども食堂17件、その他団体12件

うちR5年度開催分：子ども食堂14件、その他団体6件

- ・eこころステーション甲賀 ・NPO法人オリーブの実 ・一般社団法人ぐるり
- ・わつなぎ食堂 ・彦根市母子福祉のぞみ会 ・マイママ・セラピー ・IYOU 淡海
- ・マミーズチルドレン ・ひとり親カフェひまわり ・みんなの食堂ひとやすみひとやすみ
- ・逢坂 smi ledoor 子ども食堂 ・逢坂アモーレ子ども食堂 ・アモーレ子ども食堂
- ・さつき助産院。YUMEMURA ・むさっ子食堂運営委員会 ・平野学区のぞみ ・ホドホド食堂
- ・甲南のぞみ保育園 ・ぱれっとしが ・しが健康医療生活協同組合

② 滋賀県社協においても居場所(「カモミールの部屋」)を開催

第1回 アロマスプレーづくり

日時：令和5年9月25日(月)10:00~12:00

場所：県立長寿社会福祉センター(草津市笠山七丁目8番138)

講師：香り師 園 麻弥氏

参加者：12名(うち見学者2名、支援員1名)

第2回 ふりかけづくり

日 時：令和5年12月15日（土）14:00～15:30

場 所：COZY TOWN cafe（彦根市大東町2-28 アル・プラザ彦根6階）

講 師：お家ごはんコンシェルジュ たなか ゆうこ氏

参加者：5名

③協力団体向け交流会

〈第1回〉

日 時：令和5年11月9日（木）13:30～16:00

内 容：事業説明、協力団体による事例報告、グループトーク

コーディネーター：滋賀県地域養護推進協議会 中島 円実

事例報告：

- ・NPO 法人男女共同参画をすすめる会 IYOU 淡海 中西 洋子氏
- ・一般社団法人こそだてがめっちゃたのしくなる会 寺子屋食堂 杉原 佳乃氏

参加者数：14名（13団体）

〈第2回〉

日 時：令和6年1月25日（木）14:00～16:00

内 容：講演、グループトーク

講 演：一般社団法人こどもエンターテインメント ミウラ ユウ氏

参加者数：15名（12団体）オンライン併用

④情報提供

孤独・孤立で不安を抱える女性、支援を必要とする女性に必要な情報が届くよう関係機関と連携し情報提供をおこなった。

i 相談・支援窓口等を記載したチラシの作成・配布

作成数：チラシ 12,000部

配布先：県立施設 15か所、各市町行政 57か所、各市町社協 19か所、公民館 193か所

図書館 50か所、子育て支援センター 83か所、保健センター 42か所

子ども食堂 185か所程度、協力団体 50か所、その他 15か所程度

その他、居場所開催の際等に配布

ii ホームページやSNSを活用し、相談会や居場所の周知をおこなった。

- ・滋賀県社協ホームページに情報を掲載。
- ・Facebook、Instagram、Twitter、公式LINEアカウント、lit.linkを活用し、情報発信。

⑤生理用品等の配布

さまざまな理由から生理用品の入手が困難になっている方に対して、生理用品等を無料で提供。

県立施設だけでなく、子ども食堂や保育園、福祉施設等にも配布先として協力依頼をおこなった。

また、生理用品等の配布と合わせて支援機関の情報を案内した。

i 【県立施設での配布】

配布施設数：15団体

納品数：2,611個

ii 【学校での配布】

配布学校数：県立中学校・高校28校、その他学校6校

納品数：2,986個

iii 【協力団体での配布】

子ども食堂、福祉施設、市町社会福祉協議会等でも配布にご協力いただいた。

協力団体数：48団体

納品数：5,118個

(2) 生きづらさを抱える女性の現状把握

本事業による居場所利用者および居場所提供団体に対する調査を実施し、居場所利用者のおかれている状況把握に努めた。

【居場所利用者調査】

配布数：295

回収数：96 (32.5%)

【インタビュー調査】

調査協力団体：20団体

調査報告書作成協力：立命館大学産業社会学部 教授 斎藤 真緒氏

7 ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業の推進

(1) ひきこもり電話相談の実施

①定期電話相談（週1回）

実施曜日・時間 毎週木曜日13時～17時

相談件数 113件（新規39件、継続61件、調整13件、再開0件）

②県内複数地域での一斉電話相談会（年2回）

ひきこもりに悩む当事者や家族の不安感を少しでも和らげ、また啓発を目的とし一斉電話相談を実施した。

11機関10箇所（1機関が新規参画）

実施機関：滋賀県社会福祉協議会、さわらび福祉会、大津市社会福祉協議会、彦根市社会福祉協議会、守山市社会福祉協議会、栗東市社会福祉協議会、甲賀市社会福祉協議会、野洲市社会福祉協議会、東近江市社会福祉協議会、つながり応援センターよろず（高島市社会福祉協議会）、虹の会

実施日(第1回) 令和5年9月14日(木)、15日(金) 相談件数12件

(第2回) 令和6年2月8日(木)、9日(金) 相談件数10件

③電話相談員向け研修（1回）

実施日 令和5年9月11日(月)

講演 「求められる支援を実現するために私たちが考えておくべきこと」

講師 特定非営利活動法人パノラマ 理事長 石井 正宏氏

報告 「一本の電話からつながるためにできること」

滋賀県地域養護推進協議会 事務局長 中島 円実

参加機関 18機関

(2) 保健福祉圏域におけるアウトリーチ支援体制づくり

訪問支援（アウトリーチ）を1圏域で実施した。

①高島圏域 虹の会による個別支援の実施

支援対象者：6人

訪問実績：年間延べアウトリーチ回数 6名 全56回

※「自宅に来られるのは抵抗がある」という人には、支援員がミズカフェココ（「虹の会」運営カフェ）へアウトリーチし、そこで面談されるなど工夫して実施。

(3) 保健福祉圏域におけるひきこもり支援関係者のネットワークづくり

①各保健福祉圏域における支援関係者のネットワーク構築

県ひきこもり支援センターと連携のもと、各圏域におけるひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加し、先進事例の情報収集および他圏域への情報提供を行った。

また、事業の具体化にあたってのバックアップおよび関係機関の調整に加え、電話相談ケースにかかる支援調整および一斉電話相談参画機関の拡大を図った。

i ネットワークづくり

ア. 各圏域のひきこもり支援に関わるネットワーク会議に参加

実践や課題の共有、情報・意見交換、1機関で抱えない連携した支援を実施するためのネットワークの構築および強化を図った。

- ・甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』 運営会議 3回
- ・東近江圏域2市2町社協
 - ひきこもり支援にかかる連携会議 1回
 - 近江八幡市ひきこもりの人の家族教室に関する共有会議 1回
- ・彦根市社会福祉協議会
 - ひきこもり支援ネットワーク会議 2回
 - アウトリーチ支援チーム会議 2回
- ・高島市社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」
 - つながり応援支援者ネットワーク会議 2回

イ. フォーラム開催支援等

- ・湖南圏域において実行委員会（草津・栗東・守山・野洲市の4市社協、県社協）を設置し、フォーラムを開催

講演 ひきこもり支援を考えるフォーラム

『本人や家族の心情をどう理解し寄り添うのか

～「ひきこもり」から温かい地域づくりを考える～』

講師 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 上田 理香氏

開催日 令和6年2月7日（水）

会場 キラリエ草津 大会議室

参加者 69名

ii 地域における啓発、居場所・はたらく体験の場づくり等への支援

- ・助成団体 18団体
- ・助成額 1,765,720円

②支援者同士の情報共有・連携を目的としたひきこもり支援に関する社会資源マップの配布、
県内の支援機関が活用できるプラットフォームの運用

- i 『ひきこもり支援資源マップ』の活用
研修会、各種会議において適宜配布
- ii 『ひきこもり者等支援者ネットワークしが』の運用

(4) 県域および保健福祉圏域での家族支援の実施

誰もが利用しやすく、安心して参加でき、そして互いに共感し自己肯定感を感じることが
できる場として地域の支援機関と協力し家族教室を実施した。

①滋賀県域 本会場とあわせてサテライト会場を複数カ所設置（オンライン活用）

i 開催日 令和5年9月26日（火）

会 場 本会場：彦根

サテライト会場（4カ所）：大津、長浜、甲賀、野洲

講 師 VOSOT（チームぼそっと） 主宰 ぼそっと池井多氏

「ひきこもり当事者に家族は何ができるか」

参加者 34名（会場：21名／オンライン13名）

ii 開催日 令和5年12月11日（月）

会 場 本会場：甲賀

サテライト会場（4カ所）：大津、彦根、長浜、野洲

講 師 青少年支援ハウス 輝 立岡 勇一氏

「ひきこもり当事者との毎日から」

参加者 21名（会場：9名／オンライン12名）

iii 開催日 令和6年2月2日（金）

会 場 本会場：県立精神保健福祉センター

サテライト会場（7カ所）：7保健所

講 師 阿星山診療所 医師 本谷 研司氏

「ひきこもりの理解と家族の関わり」

参加者 42名（会場：25名／オンライン17名）

(5) 働く場づくり「はたらく体験」、居場所づくりの推進

①県社協はたらく体験の企画実施

実施数 月1回 計12回

参加者 のべ118人

内 容 封入作業、車いす・福祉用具整備清掃、イベント準備、パソコン入力等の
作業連携機関・団体

滋賀県地域若者サポートステーション、大津市社会福祉協議会、滋賀県ひき

- こもり支援センター、支援センターこのゆびとまれ、川辺のとまり木
- ②支援（サポート）機関による支援プラン会議の開催 月1回 計12回
- ③県社協での居場所づくり 「PCスポット！ボチボチいこか」の企画実施
 実施数 月1回 計12回
 参加者 のべ49名

(6) 地域啓発・啓発資材の整備

ひきこもり支援について地域の理解者を増やし支援を広げるため、啓発資材の整備・強化に取り組んだ。

啓発および相談窓口掲載チラシの更新

内容 ひきこもりを正しく理解するための啓発メッセージや滋賀県内の相談窓口一覧を掲載したチラシを、滋賀県ひきこもり支援センターと共同で令和4年度に作成し活用していたが、保健所の相談窓口開設時間帯の変更に伴い更新し配布した。

配布先 子ども若者総合相談窓口、地域包括支援センター、市町社会福祉協議会、民生委員・児童委員、図書館、子ども食堂、コープしが等

(7) ひきこもり・働きづらさ支援推進委員会の開催

県域でのひきこもり支援関係者による情報・意見交換の場である、ひきこもり支援・働きづらさ支援推進委員会を2回開催した。

実施日・場所 令和5年7月25日（火） 県立長寿社会福祉センター（13名）
 令和6年2月27日（火） 県立長寿社会福祉センター（14名）

参画機関 彦根市社協、長浜市社協、野洲市社協、滋賀県社会就労事業振興センター、滋賀県地域若者サポートステーション、八身福祉会、甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』、虹の会、県精神保健福祉センター、県障害福祉課

(8) 民生委員児童委員等ひきこもり支援に関する研修会の開催

社会的孤立状態にある当事者や家族と関わる機会がある民生委員や高齢分野の支援機関等を対象に、正しい理解を深め、地域で支えるための研修会を行った。

①「ひきこもり支援のための研修会」（2日間コース）

開催日 令和5年11月20日（月）、21日（火）

会場 (20日)県立精神保健福祉センター (21日)県立長寿社会福祉センター

参加者 33名

講師 岡山県立大学 准教授 周防 美智子氏

滋賀県立精神保健福祉センター 所長 辻本 哲士氏

大津市社会福祉協議会 扇田 宗親氏

若者自立支援ボランティアGroup居場所の会「レリーフ」 奥村 真幸氏

彦根市社会福祉協議会 野瀬 純一氏

寺嶋 勲氏（アトリチ支援員）

川部 幸子氏（アトリチ支援員）

滋賀県社会福祉協議会 川端 豊（専門相談員）

8 子どもを真ん中においた地域づくりを進める「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の推進

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の広報・啓発活動を通じて、子ども食堂等の子どもを真ん中においた地域づくりの応援団の促進及び企業・団体・個人からの寄付（食品・物品・金券等）やサポートをマッチングする取り組みに重点をおいて実施。

(1) 子どもの笑顔のスポンサーから子ども食堂への“ほほえむ力サポート” マッチング事業（子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進）

①企業・団体および個人のスポンサー登録の推進

新規：32件（団体12件、個人20件）

合計：586件（団体443件、個人143件）

②はぐくみ基金への寄付の推進

・はぐくみ基金への寄付収納（物品等金額換算分を含む）34,275,173円

・団体寄付 191件 個人寄付 87件 合計278件（延べ数）

③スポンサーからのサポート(提供)に係るマッチング

・バローグループによる県内店舗でのフードドライブとのマッチング

近江八幡市内店舗 1件、米原市内店舗 1件

・企業からの定期的な寄付(食品・物品)によるサポート 6企業

・フードパントリーの開催（南部拠点：県立長寿社会福祉センター）

第1回：6月 1日(木) 44団体 67名

第2回：8月10日(木) 41団体 62名

第3回：10月19日(木) 36団体 47名

第4回：12月21日(木) 43団体 69名

第5回：2月15日(木) 42団体 59名

④スポンサー等と活動者のマッチングの推進

・個人ボランティアサポーターと子ども食堂のマッチング 16名

⑤イベントでの啓発活動

・令和5年10月21日(土)

子ども食堂×キャノンマシナリー「ハロウィンフォトイベント」

・令和5年12月23日(土)

インクルーシブ食堂 クリスマス会 ブース出展

⑥通信の発行、ホームページ等による広報啓発活動の推進

・ホームページ、Facebook、Instagramを活用した情報配信

・公式LINEアカウントを活用した情報配信

・スポンサー募集 リーフレット発行 3,000部

・はぐくみ啓発Tシャツの製作 200枚

・はぐくみ通信～子ども食堂活動状況アンケートまとめ号～発行2,000部

⑦ネットワーク団体会議等への参画

- ・子ども食堂ネットワークこうか代表者会議 5回
- ・日野町子ども食堂意見・情報交換会 5回
- ・湖北(米原・長浜)エリア子ども食堂交流会 2回
- ・子ども食堂ネットワーク会議(大津市) 1回
- ・子ども食堂情報交換会(近江八幡市) 1回

(2) 子ども食堂運営者学びサポート事業

地域のニーズに合わせてさまざまな形で活動をしている子ども食堂が、それぞれの地域であたたかな居場所としてあり続け、子どもも大人も安心して参加できる場所となるよう、関わる人や地域住民の学びを応援するための学びにかかる費用の助成を行った。

- 助成要件
- ・令和5年4月1日～令和6年3月31日に子ども食堂実施団体が、スタッフやボランティアに向けて開催する研修会等にかかる費用
 - ・1食堂あたり1万円上限(1食堂あたり年間1回)

助成実績 10件(12団体) 119,166円

(3) みんな集まれ!遊べる学べる淡海子ども食堂フェスタ

①みんな集まれ!子ども食堂フェスタ

開催日 令和5年7月8日(土)

場 所 県立長寿社会福祉センター

参加者 534名(スタッフ含む)

内 容 子ども食堂コーナー、ステージコーナー、遊びコーナー、展示等

②みんな集まれ!コーギータウン子ども食堂フェスタ

開催日 令和5年10月28日(土)

場 所 アル・プラザ彦根 COZYTOWN

参加者 461名(スタッフ含む)

内 容 子ども食堂コーナー、遊びコーナー、スタンプラリー、展示等

(4) 子ども食堂つながりネットワーク SHIGA 研修・交流事業

①子ども食堂をよりよく運営していくための研修会

開催日 令和5年9月7日(木)

場 所 県立長寿社会福祉センター 介護実習室

参加者 18名(事務局除く)

講 師 有限責任監査法人トーマツ 土田 健太郎氏

事例提供 スマイル甲賀大原っ子 井村 龍造氏

②地域における子ども食堂等の“居場所”の大切さを学ぶ研修会・交流会(4回)

<彦根会場>

開催日 令和5年9月29日(金)

場 所 彦根市商工会議所 Aホール
参加者 10名(事務局除く)
講 師 かんちゃんの小さな家 代表 佐子 完十郎氏

<草津会場>

開催日 令和5年10月4日(水)
場 所 県立長寿社会福祉センター 介護実習室
参加者 13名(事務局除く)
講 師 かんちゃんの小さな家 代表 佐子 完十郎氏

<湖南会場>

開催日 令和5年11月7日(火)
場 所 三雲コミュニティセンター 大会議室
参加者 31名(事務局除く)
講 師 NPO法人 Take-Liaison 北居 理恵氏

<近江八幡会場>

開催日 令和5年11月13日(月)
会 場 近江八幡市総合福祉センターひまわり館 ホール
参加者 36名(事務局除く)
講 師 NPO法人 Take-Liaison 北居 理恵氏

③子ども食堂交流会

開催日 令和6年1月17日(水)
場 所 県立長寿社会福祉センター 介護実習室
参加者 14名(事務局除く)
内 容 「遊べる・学べる淡海子ども食堂って?」「子ども食堂自慢!」等

(5) 新規立ち上げ子ども食堂の支援と継続支援

① 新規立ち上げ子ども食堂の支援

新規立ち上げ子ども食堂(ネットワーク加入)	30か所
開設支援助成審査会	4回
子ども食堂立ち上げ資金の助成(開設支援助成)	12食堂
1団体10万円	1,200,000円

② 子ども食堂安心・安全促進事業(子ども食堂保険加入促進事業)

ボランティア行事用保険	助成: 60件	766,568円
ボランティア活動保険	助成: 28件	88,100円

③ 子ども食堂等における物価高騰対策支援事業

(滋賀の子ども・若者のほほえむカサポート事業うれしいことプラス1助成)

物価高騰による影響が子どもたちに及ばないよう、子ども食堂等の活動の支援を通じて子どもたちの様々なうれしい・たのしい体験機会を確保するため、子ども食堂等へ助成を行

った。

助成要件・令和5年12月21日から令和6年3月31日に「うれしい・たのしい体験」を
子ども食堂等において提供すること

・1団体あたり3万円上限（1回あたり1万円、3回まで対象）

助成実績 80件（子ども食堂 76か所、フリースペース 4か所）2,340,000円

④「子ども食堂つながりネットワーク SHIGA 活動状況アンケート調査」実施
（138/185件(有効回答率75%)）

(6) 認定NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえとの共働事業

①「子ども食堂立ち上げ勉強会」コンテンツづくりに向けた会議

「ファミリーマート&むすびえ 子ども食堂スタート応援助成プログラム」

の助成金だけでなく、子ども食堂を始めてみたい!と思った方が、開設を目指す一連の流れ
をすころく形式の動画で疑似体験できるよう動画を作成するための会議へ参加及び動画出演。
5回(会議参加 4回、動画出演 1回)

②各地のお宝シェアしたい~情報連携プロジェクト~（お宝プロジェクト）

各都道府県子ども食堂中間支援団体で、全国での子ども食堂への特色ある地域の活動や隔
月テーマの事例収集を実施。5回

③社協×むすびえ横断会議

各社協が取り組む子ども食堂との協働実践を共有し、地域での取組みを全国に広げるため
の研修会実施のための会議に参加。6回

9 地域養護の推進

(1) 地域養護推進協議会との協働による取組み

社会的養護を経験した者をはじめ、生きづらさを抱えた若者に対し、福祉、就労、保健医療、
教育および司法等の関係者や県民等が共働して生活支援、就労支援、居場所づくり等を行う 滋
賀県地域養護推進事業を受託・実施した。その中で「つながり若者センターマザーボード」お
よび「つながり若者センターコージョータウン」の2センターを運営し、生きづらさを抱えた若
者に対して、生活や就労等に関する相談支援事業および居場所事業を行った。

①対象者に対する就労や住居および自立生活に関する個別の相談・支援

【つながり若者センターマザーボード相談支援実績】実支援者数 114人

内 容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計
	3,584件	1,079件	372件	128件	5,163件

【つながり若者センターコージョータウン相談支援実績】実支援者数 46人

内容	生活相談	就労相談	医療関連支援	法律相談支援	計
	1,145件	204件	202件	61件	1,612件

上記、若者に対する相談・支援に加え、各児童養護施設より自立支援員、アフターケア担当職員等が参加する進捗会議を12回開催した。ここでは、支援対象者への支援の進捗状況確認や、意見・情報交換、ならびに支援制度等の今後のより良い在り方検討を行った。

②対象者に関する「継続支援計画書」の作成

児童養護施設等を令和6年3月退所予定である14名について、継続支援計画書の作成を行った。

③居場所づくり事業の企画および実施

i つな若キッチン

献立決め、食材の買い出し、調理および後片付けまでを、若者とスタッフが一緒に行った。予算を意識した買い物、調理技術の獲得、作業を通じた自然なコミュニケーション機会の創出などを目的として、全12回実施した。

会場を固定せずに県内各地で開催し、居住エリアによる参加しにくさの軽減にも配慮した。延べ67名の若者が参加した。

ii つな若ダイニング

若者とスタッフが一緒に夕食を摂りながら生活状況の聴取を行い、困りごとの早期発見につなげた。11回開催し、延べ85名の若者が参加した。

iii つな若コージー食堂

コージータウンカフェにて、若者とスタッフが一緒に夕食を摂りながら生活状況の聴取を行い、困りごとの早期発見につなげた。12回開催し、延べ112名の若者が参加した。

iv OEKAKI会

日中活動が定まっていない若者に対して、イラスト等の創作活動など社会参加機会を提供した。12回開催し、延べ87名の若者が参加した。

v モノづくり会

就労をはじめとした日中活動が定まっていない若者に対して、革製品の創作活動など社会参加の機会の提供を行った。12回開催し、67名が参加した。

④広報・啓発等の取組み

滋賀県地域養護推進協議会全体会議および学習会

令和6年1月29日(月) 於：長寿社会福祉センター 参加者数：36名

全体会議では、滋賀県におけるすべての若者を地域で支えていく地域養護の推進に向け、各会員による取組みの共有や意見交換を行った。

また、学習会には会員および本会の行うハローわくわく体験事業協力企業が参加し、立命館大学産業社会学部石田賀奈子教授の講義、つながり若者センターで支援する若者の事例報告を受け、グループワークを実施した。

(2) ハローわくわく体験事業の推進

児童養護施設等、社会的養護のもとで暮らす子どもたちに対して、協力企業において仕事体験等を実施し、入所中から働くことへの関心や理解を深め、子どもたちの職業観を育成するとともに、協力企業との交流や自分理解や他者理解に関わる各セミナーを行った。

①仕事体験の実施

長期休業を利用して、中高生の仕事体験および小学生の工場・職場見学を実施

i 中高生の「ハローわくわく仕事体験」

ア. 夏休み 参加者7名、企業6社

イ. 冬休み 参加者4名、企業4社

ウ. 春休み 参加者なし

計：延べ11名体験10企業

ii 小学生の「工場・職場見学」

ア. 夏休み 見学者2名、企業1社

イ. 冬休み 見学者8名、企業5社

ウ. 春休み 見学者1名、企業1社

計：延べ11名見学7企業

②協力企業等の開拓および登録

協力企業・事業所数：193企業・事業所（新規開拓8企業・事業所）

③子どもおよび施設職員、里親対象の研修会の開催

i キャリアアップセミナー

子どもたちが自身の将来について具体的に考えるきっかけとするため、小中学生対象のセミナーを7月に開催し、中高生対象のセミナーを10月に開催した。

ア. 第1回キャリアアップセミナー（小中学生対象）

開催日 令和5年7月2日（日）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 ≪すきなものビンゴ&お仕事マップ≫

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

講 師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 堀江 尚子氏 他16名

参加者 小中学生39名、職員23名

イ. 第2回キャリアアップセミナー（中高生対象）

開催日 令和5年10月29日（日）

場 所 県立長寿社会福祉センター

内 容 “自分を知る”ことをさらに深め、人が本来持つ“気質”の側面からアプローチするプログラム。自分自身の“気質”を知り、他のタイプの気質を知ることによって、自分を肯定し、他者も尊重することができ、他者への関わりのヒントを得る。

講 師 一般社団法人C&F協会 TRUE COLORS 友井 真人氏、中野 満知子氏 他3名

参加者 中高生7名 職員12名

ii プレキャリアアップセミナー

子どものキャリア教育プログラムの効果を高めるため、生活を共にする大人（施設職員、里

親)に向けた研修。

子ども対象に実施する第1回キャリアアップセミナーを先行して大人向けで行い、子どもたちとの日常的な関わりや子どもたちの生きる力を育む“引き出し、認め、育てる”関わりについて学び深める。施設職員や里親が参加しやすいように児童養護施設を会場に実施した。

ア. 小嶋の家

開催日 令和5年5月16日(火)

参加者 施設職員15名

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 宇津木 由香氏 他4名

イ. 湘南学園

開催日 令和5年5月30日(火)

参加者 施設職員18名 里親2名

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 宇津木 由香氏 他4名

ウ. 守山学園

開催日 令和5年5月22日(月)

参加者 施設職員24名

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 宇津木 由香氏 他7名

エ. 鹿深の家

開催日 令和5年5月12日(金)

参加者 施設職員26名

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 宇津木 由香氏 他6名

オ. さざなみ学園

開催日 令和5年5月26日(金)

参加者 施設職員10名

講師 NPO法人 くさつ未来プロジェクト 宇津木 由香氏 他3名

④就労体験に向けたプロフェッショナルセミナー(子どもと企業との交流会)の開催

ⅰ 中高生対象のプロフェッショナルセミナー

各児童養護施設等を会場にして実施

ア. 小嶋の家

開催日 令和5年10月21日(土)

参加企業 4社 8名

参加数 児童14名 職員10名

イ. 湘南学園

開催日 令和5年6月18日(日)

参加企業 4社 6名

参加数 児童10名、職員18名

ウ. 守山学園

開催日 令和6年2月25日(日)

参加企業 4社 8名

参加数 児童9名、職員12名

工. 鹿深の家

開催日 令和5年10月8日(日)

参加企業 6社 18名

参加数 児童 8名、職員10名

オ. さざなみ学園

開催日 令和5年6月17日(土)

参加企業 4社 8名

参加数 児童 5名、職員5名

ii 小中学生を対象にした「しがの子ども仕事体験PARK」

開催日 令和5年8月2日(水)

参加企業：12社 35名

参加数 児童 54名、職員 23名

⑤ 仕事体験に係る広報

広報誌の発行

- ・「ハローわくわくニュースレター」Vol. 16 令和5年10月発行：発行230部

⑥ その他

- ・仕事体験に必要な連絡調整
- ・里親連合会・FH専門部定例会に参加

(3) 社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所フリースペースづくり

① 社会福祉法人等によるフリースペースの推進

社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」の実施の支援を行った。

- ・社会福祉法人等によるフリースペース事業の推進 13か所
助成：8か所 活動再開準備中2か所 活動休止：3か所
- ・社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」にかかる意見交換会
開催日 令和5年9月25日(月) 参加者 10名(事務局含む)

11 災害時における福祉的支援の推進

(1) 滋賀県災害ボランティアセンターの運営

① 災害ボランティアコーディネーター基礎研修の開催

災害ボランティアセンターのコーディネートに必要な基本知識、スキルの習得を目的として開催。

日時 令和5年7月14日(金)

場所 草津市立市交流プラザ 大会議室

参加者 24名

内容 講義「災害支援と社協の役割」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEELDo 代表理事 栗原 英文氏
実践報告

「平成25年9月台風18号と社協による支援の状況から」

高島市社会福祉協議会 地域福祉課 西村 一真氏
「令和5年台風2号災害と社協による支援の状況から」
海南市社会福祉協議会 地域福祉係 係長 村木 理恵氏

②県災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施

災害ボランティアセンターの手順の確認、困難な状況への対応ノウハウの蓄積を目的として実施。
また、大津市災害VCとの連携訓練も実施。

日 時 令和5年10月15日(日)

場 所 滋賀県危機管理センター

参加者 20名

内 容 非常体制移行訓練、初動活動訓練、現地災害VCからの依頼対応訓練、
状況付与対応訓練、平常時移行訓練
大津市災害VCとの連携訓練

③能登半島地震に伴う被災地災害ボランティアセンター運営支援のための職員派遣

日 時 令和6年1月25日から4月2日まで全17クール

派遣職員 県社協および市町社協職員 延べ24人

派遣内容 七尾市社協災害ボランティアセンターの運営支援

(2) 災害時要配慮者支援の推進

①県災害時要配慮者支援ネットワーク会議の開催

要配慮者の避難及び避難生活について、平常時から支援者および当事者が課題を共有し連携を深めることで、災害時に円滑に支援できるようにすることを目的として開催した。

【全体会議】

<1回目>

日 時 令和5年9月6日(水)

会 場 滋賀県立県民交流センター大会議室(ピアザ淡海3階)

参加者 72名

内 容

<コーディネーター>

滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会 アドバイザー

コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栞原 英文氏

講義 キーノートスピーチ「災害時における福祉的支援の強化について」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表 栞原 英文氏

構成団体報告・課題提起「災害時に想定される私たちの過ごし方」

報告者 滋賀LD等発達障害親の会 トムソーヤ 小林 亜希子氏

情報提供「滋賀県における災害時要配慮者対策について～誰一人取り残さない防災の実現をめざして～」

報告者 滋賀県知事公室防災危機管理局 細川 優衣氏

滋賀県健康福祉部健康福祉政策課 畑 直宏氏

グループディスカッション

<2回目：えにしの日特別企画>

滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議（令和5年度第2回全体会議えにしの日特別企画
令和6年能登半島地震にかかる滋賀県災害派遣福祉チームしが DWAT 活動報告会）を開催した。

日 時 令和6年3月11日（月）

会 場 滋賀県立県民交流センター大会議室（ピアザ炎海3階）

参加者 101名

内 容 「避難所における福祉的支援について DWAT 活動を通して」

報告者 DWAT（災害派遣福祉チーム）チーム員報告

- ・社会福祉法人 近江和順会 特別養護老人ホームヴィラ十二坊
施設長 河岸 寛之氏
- ・社会福祉法人きぬがさ福祉会 きぬがさ作業所 支援員 北畑 正弘氏
- ・特定非営利活動法人宅老所心小規模多機能型居宅介護事業所 心
施設長 森本 信吾氏

「要配慮者の状況と見えていた課題について」

報告者 DHEAT チーム員報告

- ・滋賀県南部健康福祉事務所 所長 川上 寿一氏

グループトーク

【高島圏域開催】

日 時 令和5年8月30日（水）

会 場 高島市役所新館3階会議室 10・11

参加者 28名

内 容

講義「社会福祉施設・事業所等の自然災害業務継続計画その目的・ポイントについて」

講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

BCP 取組み紹介「災害時に命を守る BCP への取組み」

報告者 社会福祉法人 ゆたか会 特別養護老人ホーム 清風荘 施設長 林 辰弥氏

報告者 社会福祉法人植竹会幼保連携型認定こども園 ゆたか第二保育園 島田 峰子氏

市内事例報告「平成25年台風18号災害の対応と課題」

報告者 高島市健康福祉部次長 訪問看護認定看護師 武内 美英子氏

社会福祉法人 高島市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 八坂 和美氏

生活支援コーディネーター 西村 一真氏

グループトーク・クロストーク

②えにしの日取組み推進

3月11日を「えにしの日」、3月を「えにし月間」として、災害時に困難を抱える人の視点で、非常時に備えた訓練や研修を行う団体に対して助成。

- ・取組み団体 18 団体

<重点取組>

- ・地域コミュニティを意識した防災学・子どもの防災教育
- ・事業継続計画・業務継続計画（BCP）等、マニュアルの検証・見直し
- ・個別避難計画を活用した訓練・学習会

・子どもの防災教育

③しが DWAT チーム員養成研修等の開催

○チーム員登録状況

218 名登録（令和6年3月時点）

【災害派遣福祉チーム（DWAT）養成研修】

日 時 令和5年6月30日（金）

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 29 名

内 容 DWAT の機能と実際の支援展開を学ぶ基礎的講義・演習・チームビルディング

説明 災害派遣福祉チーム（DWAT）とは

登壇者 県健康医療福祉部 健康福祉政策課 企画調整係 主事 矢向 沙映佳氏

講義・演習 被災地・被災者がおかれる状況と DWAT の活動

講義 避難所および避難所生活の理解

演習 災害の進行と被災者が置かれる状況の理解

演習 被災者支援の支援主体の理解・DWAT による被災者支援の視点

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

くらしの学びサポートオフィス HumanBeing 代表 菅原 清香氏

【滋賀県災害派遣福祉チーム（しが DWAT）フォローアップ研修】

<現地開催>

日 時 令和5年9月13日（水）

会 場 長寿社会福祉センター 介護実習室・介護研修室

参加者 28 名

内 容

<コーディネーター>

一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

活動報告 京都 DWAT の方から自己紹介と活動報告

報告者 和束町在宅介護支援センターなのはな 係長 村上 晶之氏

社会福祉法人 南山城学園 障害者支援施設 輝（かがやき）副施設長 佐藤 走野氏

非常食の試食

京都 DWAT と意見交換会

<オンライン開催>

日 時 令和5年9月15日（金）

参加者 44 名

内 容

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

活動報告 ぐんま DWAT の方から自己紹介と活動報告

報告者 公益社団法人群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

ソーシャルワーカー 小川 晋平氏

社会福祉法人二之沢愛育会 ライフサポートのどか

サービス管理責任者 原澤 大輔氏

ぐんま DWAT の方との意見交換、交流

【滋賀県災害派遣福祉チーム（しが DWAT）リーダー養成研修】

日 時 令和5年12月8日（金）

会 場 滋賀県危機管理センター

参加者 17名

内 容

<コーディネーター>

一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

実践報告「避難所における DWAT の活動」

報告者 社会福祉法人植竹会 特別養護老人ホームゆたか 理事長兼施設長 島田 幸治氏

公益社団法人群馬県医師会 群馬リハビリテーション病院

ソーシャルワーカー 小川 晋平氏

社会福祉法人甘楽育徳会 児童養護施設こはるび

統括主任 家庭支援専門相談員 陸川 恭太氏

チームビルディング・演習「DWAT ってどんなチーム？と聞かれたら」

講師 一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文氏

演習・ケーススタディ「災害発生時における要配慮者支援の展開、避難生活における環境改善」

講義「避難所における DWAT 活動の視点」

④能登半島地震に伴うしが DWAT チーム員派遣

令和2年度にチーム設置後初めての派遣調整を行った。

日 時 令和6年1月25日から4月2日まで全17クール

派遣職員 48名（3名×16クール）

派遣内容

・1～5クール

いしかわ総合スポーツセンター（1.5次避難所）奥能登地域から避難して来られる高齢者等のアセスメント、介助（トイレ、シャワー浴、移動等）、二次避難所への入所等に向けた聴き取り等（※二次避難所は、金沢市等の宿泊施設）

・6～7クール

県 DWAT 本部事務局業務（記録管理、マニュアル作成、新たな活動拠点の訪問調査）

・8～12クール

1次避難所富来活性化センターでの避難者へのアセスメント、近隣避難所への巡回等

・13～16クール

志賀町 DWAT 地域リーダーとして、本部（石川県庁、全社協）との情報共有、他の専門職チーム（DMAT、DHEAT、JRAT、JDAT 等）との連携、町役場・社協・地域包括支援センターとの情報共有・連携、町内の他府県 DWAT のサポート等

12 滋賀県ボランティアセンターの運営

(1) ボランティアコーディネート講座の実施

〈1回目〉

開催日 令和5年9月7日(木) 10:30~12:00

場 所 県立長寿社会福祉センター 介護実習室

参加者 11名

内 容 ボランティア活動を安定して継続するために、会計・税務・助成金申請等に関する基礎知識を得るとともに、実際に活動されているボランティア団体の会計帳簿をもとに、記載方法やポイント等について

講師・ファシリテーター 有限責任監査法人トーマツ 土田 健太郎氏

話題提供 スマイル甲賀大原っ子 井村 龍造氏

〈2回目〉ボランティアリーダー講座(折り紙講座)

開催日 令和6年3月25日(月) 13:30~15:30

場 所 COZY TOWN

参加者 9名

内 容 学びと趣味を広げることにより、自分の得意なことを見つけ、ボランティア活動に活かすための取組

講師・ファシリテーター

レイカディアえにしの会 研修教育部会 日本折り紙協会認定折紙講師 坂 早百合氏

講師補助:大畠 ひとみ氏、大田 晴美氏、橋爪 一雄氏

(2) 淡海フィランソロピーネット事務局の運営

①副運営委員長・事務局書記会議の開催

2回開催【令和5年4月19日(水)、令和6年3月14日(金)】

②運営委員会の開催

2回開催【令和5年5月23日(月)、10月11日(火)】

③総会の開催

開催日:令和5年7月10日(月)

会 場:ホテルポストンプラザ草津

④会員研修の開催

開催日:令和5年7月10日(月) 15:30~17:00

会 場:ホテルポストンプラザ草津 参加者数:29名

内 容:テーマ「淡海フィランソロピーネットのあゆみ~今後の在り方について考える~」

【パネルディスカッション】

<登壇者> 淡海フィランソロピーネット初代運営委員長 松田 弘氏

元淡海フィランソロピーネット幹事 西堀 武氏

<進行> 滋賀県社会福祉協議会 事務局次長 高橋 宏和

【意見交換(グループトーク)】

⑤企業・団体の社会貢献活動トップセミナーの開催

開催日:令和6年2月15日(木) 15:00~17:15

会 場：びわ湖大津プリンスホテル コンベンションホール淡海7・8

参加者：84名（淡海フィランソロピーネット会員54名、会員外9名、登壇関係者4名、
主催関係者17名）

内 容：テーマ『スポーツを通じた社会貢献活動～“わた SHIGA 輝く 国スポ・障スポ2025”に
向けて～』

- ・講演講師：大阪ガスネットワーク株式会社 北京五輪メダリスト 朝原 宣治氏
- ・対談登壇者：大阪ガスネットワーク株式会社 北京五輪メダリスト 朝原 宣治氏
滋賀県知事 三日月 大造氏
- ・進行：びわ湖放送アナウンサー 塚本 京平氏

⑥企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催

開催日：令和5年11月22日(水) 14：00～16：00

会 場：COZY TOWN およびオンライン (ZOOM)

参加者：57名（淡海フィランソロピーネット会員30名、会員外27名）

内 容：講演 「災害現場における ICT 活用の現在地～事例から学ぶ、今私たちが備えるべき
こと～」

講師 サイボウズ株式会社 災害支援チームリーダー 柴田 哲史氏

レイカディア振興課

1 滋賀県レイカディア大学の運営（草津キャンパス/彦根キャンパス）

高齢者に健康と生きがいづくりのための実践的な知識や教養、技能を修得する学習機会を提供し、県内の高齢者の自立と地域貢献に寄与するようレイカディア大学を運営した。

(1) 楽しく豊かに生きるための基礎講座および選択講座の実施

◆楽しく豊かに生きるための基礎講座（令和5年4月～令和6年3月）

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）		
		1年前期 (45期)	1年後期 2年前期 (44期)	2年後期 (43期)
豊かに 生きる	新しい生き方、人生のヒント	[草津]	[草津]	[草津] 70時間 (18日)
健康 づくり	からだの健康、こころの健康、 つながりと健康、食と運動	58時間 (15日)	114時間 (29日)	
社会参加	ボランティア活動と社会貢献活 動、情報・SNS、資格を得る	[彦根]	[彦根]	
くらしと 地域	滋賀の魅力発見、自然と環境、 お金と就労、くらし	58時間 (15日)	118時間 (30日)	[彦根]

学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニューススポーツ大会、大学祭、自主活動、その他			62時間 (16日)
------	---	--	--	---------------

◆選択講座

学習領域	主な学習内容	学習時間（実績）			
		1年前期 (45期)	1年後期 2年前期 (44期)	2年後期 (43期)	合計
園芸学科 [草津/彦根]	庭木・果樹の作り方、土壌・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、花壇づくり、その他	44時間 ×3クラス	88時間 ×3クラス	44時間 ×3クラス	528時間 (132日)
陶芸学科 [草津]	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の歴史、その他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
びわこ環境学科 [草津]	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮らし（ゴミの軽減化、エコ生活等）、水質保全、里山保全、その他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
地域文化学科 [草津]	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
北近江文化学科 [彦根]	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	44時間	88時間	44時間	176時間 (44日)
健康づくり学科 [草津/彦根]	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、レクリエーション等）その他	44時間 ×2クラス	88時間 ×2クラス	44時間 ×2クラス	352時間 (88日)
合計		396時間 (99日)	792時間 (198日)	396時間 (99日)	1,584時間 (396日)

【 学生数 】

(令和6年3月31日現在)

	草津キャンパス									彦根キャンパス									合 計		
	44期生			45期生			計			44期生			45期生			計					
園芸 A	21	13	1	21	8	0	42	21	1	33	18	3	23	15	0	56	33	3	98	54	4
		7	0		13	0		20	0		12	0		8	0		20	0		40	0
園芸 B	17	12	0	19	9	1	36	21	1										36	21	1
		5	0		9	0		14	0											14	0
陶芸	19	11	0	22	15	0	41	26	0										41	26	0
		8	0		7	0		15	0											15	0
びわ 環	17	12	1	21	12	2	38	24	3										38	24	3
		4	0		7	0		11	0											11	0
地域/ 北近 江	26	19	0	27	19	0	53	38	0	21	13	1	18	10	0	39	23	1	92	61	1
		7	0		8	0		15	0		6	1		8	0		14	1		29	1
健康	19	9	0	25	11	0	44	20	0	20	4	1	19	4	0	39	8	1	83	28	1
		10	0		14	0		24	0		15	0		15	0		30	0		54	0
計	119	76	2	135	74	3	254	150	5	74	35	5	60	29	0	134	64	5	388	214	7
		41	0		58	0		99	0		33	1		31	0		64	1		163	1

※ 上段：男性、下段：女性。網掛けは、リカレントコース履修生数（外数）。

【 学生募集・入学状況（45期生）】

	草津キャンパス	彦根キャンパス	計
定員	145人	70人	215人
応募者	191人	81人	272人
入学者	147人	69人	216人
入学／定員	101.4%	98.6%	100.5%

① 地域活動体験学習

地域活動体験学習では、在学中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らがつくり、地域の人々と共に課題に取り組む力を身につけた。

② 課題学習

学生自らが課題を見出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へとつなげた。

③ 大学祭

日頃の学びを展示・発表することを通じて、学習効果をより一層高めるとともに、仲間との交流を深め、学びを共有することができた。

【草津キャンパス】 開催日 令和5年7月20日（木）～7月22日（土）

会 場 県立長寿社会福祉センター

【彦根キャンパス】 開催日 令和5年7月14日（金）～7月15日（土）

会 場 COZY TOWN（アル・プラザ彦根 4階）

(3) 公開講座の実施

レイカディア大学の学びを体験できる機会、認知度向上および卒業生の活躍の場として公開講座を実施し、あわせて大学説明会を行った。

① 公開講座・大学説明会

[草津キャンパス]

	開催日	内容	参加者数
1	6月2日(金)	災害ボランティア活動について～被災地の活動から学ぶ～ 講師：災害NGO 結 前原 土武氏	13
2	7月7日(金)	徳川家康と城づくり 講師：滋賀県立大学 名誉教授 中井 均氏	46

[彦根キャンパス]

	開催日	内容	参加者数
1	6月22日(木)	クラウドファンディングで地域貢献！ 講師：合同会社MediArt 植田 淳平氏	9
2	7月6日(木)	近江と徳川家康の深い関係 講師：淡海歴史文化研究所 太田 浩司氏	17

② 学科見学会・学科説明会

[草津キャンパス]

	開催日	学科	内容	参加人数
1	5月17日(水)	園芸	剪定実習 松の剪定(松のみどり摘み) 樹木医 平塚 英史氏	7
2	6月5日(月)		花壇づくり フラワーアレンジメント講師 水島 たず子氏	10
3	7月12日(水)		球根と宿根草の育て方 ハンギングバスケットづくり・観葉植物の育て方 フラワーアレンジメント講師 水島 たず子氏	18
4	5月9日(火)	陶芸	【作陶】鉢(応用) 灘 さとみ氏	5
5	6月14日(水)		【施釉・焼成】釉掛け・窯詰 岡田 勲氏	12
6	7月11日(火)		【作陶】タタラ成形(蓋物) 灘 さとみ氏	10
7	5月31日(水)	びわこ 環境	[知る観る]琵琶湖の治水・利水と琵琶湖総合開発(アクア琵琶にて実習見学PM) 滋賀大学教授 石川 俊之氏	9
8	7月5日(水)		[学ぶ]滋賀県版レッドデータブックから～減少する動植物と増大する外来種～ 株式会社ラーゴ 西川 博章氏	8

9	7月19日(水)		[知る]里山問題を考える～里山の歴史と現状～ 龍谷大学 教授 宮浦 富保氏	15
10	5月9日(火)	地域文化	明智光秀と坂本城 滋賀県文化財保護課 松下 浩氏	5
11	6月6日(火)		織田信長と近江の武将～信長侵攻前の近江～ ～用意周到、近江侵攻～ 元東近江市史編纂室長 山本 一博氏	13
12	7月11日(火)		『まちづくり講座』オリエンテーション 講座の目的や住民主体のまちづくりについて ～身近な問題に目を向けてみよう～ 認定特定非営利活動法人 しがNPO センター 理事 森川 稔氏	16
13	5月30日(火)		健康と運動 講義：「運動処方とその進め方」 実習：体力測定2 滋賀県立大学 名誉教授 寄本 明氏	16
14	6月26日(月)	健康 づくり	健康とヨガⅡ (実技) 健康寿命をのばそう ヨガインストラクター 頼角 紀子氏	22
15	7月3日(月)		健康と運動 (実技) 健康寿命の延伸 (3) 高齢期の体力・認知症・ヨガ 健康運動指導士 井花 春美氏	23

[彦根キャンパス]

	開催日	学科	内容	参加人数
1	6月28日(水)	園芸	樹木病害虫の診断と防除 樹木医 信田 繁治氏	18
2	7月26日(水)		滋賀の野菜を知る～野菜のハナタバをつくらう～ 野菜ソムリエ 和田 直子氏	5
3	6月21日(水)	北近江 文化	古地図で訪ねる北近江 江戸時代～明治時代 元滋賀県立高校 校長 松井 善和氏	7
4	7月11日(火)		古地図で訪ねる北近江 ～読図～ 元滋賀県立高校 校長 松井 善和氏	4
5	6月30日(金)	健康 づくり	健康と食・栄養 脳梗塞・心筋梗塞の予防と栄養 滋賀県栄養士会 副会長 清水 満里子氏	19
6	7月28日(金)		地域における健康づくりへのアプローチⅠ 健康運動指導士 飯田 忍宣氏	5

(4) オープンキャンパスの実施

「レイカディア大学」の認知度と関心を高め、入学希望者を増やすことを趣旨として開催した。

① 彦根キャンパスオープンキャンパス

日 時：令和5年6月17日（土）13：00～16：30

会 場：アル・プラザ彦根4階 COZY TOWN

参加者数：37名

プログラム：

i 体験授業

ア.園芸学科 「夏野菜の栽培管理（実演）」

講師 松原 治夫氏（元八日市南高校教諭）

会場 COZY TOWN Aルーム

体験時間 13：00～13：45 15：00～15：45

イ.健康づくり学科 「ニュースポーツ「ボッチャ」と「スペースO」を体験しよう！」

講師 前山 直氏（梅花女子大学教授）

会場 COZY TOWN Bルーム

体験時間 13：50～14：30 15：50～16：30

ウ.北近江文化学科 「古地図で訪ねる北近江（講義）」

講師 松井 善和氏（元県立高等学校長）

会場 COZY TOWN Cルーム

体験時間 13：00～13：40 14：50～15：30

ii 活動体験 「折り紙づくり」

講師 特定非営利活動法人レイカディアえにしの会

体験時間 13：00～16：30

iii 入学相談

窓口 滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスサポートの会

相談時間 13：00～16：30

② 出張オープンキャンパス

日 時：令和5年7月9日（日）13：00～16：30

会 場：アル・プラザ八日市 1階セントラルコート・4階みんなの広場

参加者数：86名

プログラム：

i 体験授業

ア.園芸学科 「夏の花の寄せ植え（実演）」

講師 沓水 節夫氏（元長浜農業高等学校教諭）

会場 1階セントラルコート

体験時間 13：00～13：45 15：00～15：45

イ.健康づくり学科 「ニュースポーツ「ボッチャ」と「スペースO」を体験しよう！」

講師 前山 直氏（梅花女子大学教授）

会場 1階セントラルコート

体験時間 13：50～14：30 15：50～16：30

ウ.北近江文化学科 「古地図で訪ねる北近江（講義）」

講師 松井 善和氏（元県立高等学校長）

会場 4階みんなの広場

体験時間 13:00~13:40 14:50~15:30

ii 活動展示 「レイカディア大学同窓会中部支部 作品展」

期間 7月6日(木)~10日(月)

会場 1階セントラルコート・4階みんなの広場

iii 入学相談

窓口 滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスサポートの会

相談時間 13:00~16:30

③ 草津キャンパスオープンキャンパス

草津キャンパスサポートの会による相談窓口を設置した。

日 時: 令和5年7月21日(金) 10:00~15:00

会 場: 県立長寿社会福祉センター 1階ロビー

参加者数: 11名

(5) 滋賀県レイカディア大学運営委員会の開催

開催日 令和6年3月27日(水)

内 容 レイカディア大学の現状について・卒業生の活動について 他

(6) 中国湖南省シニア大学『快樂老人大学』との交流

シニア層の暮らし、健康の秘訣等について意見交換を行った。

① 開催日 令和5年5月30日(火)

参加者数 24名

② 開催日 令和6年3月21日(木)

参加者数 27名

2 S L E C (滋賀レイカディアエクステンションカレッジ) 事業の実施

(1) 友活講座の開催

学びと趣味をひろげる自分磨きとして、短期講座「友活講座」を計22回開催し、延べ260人が参加した。

講座名	内 容	講師	会場	開催日	参加人数
土笛づくり 講座	オーブンで焼いて 仕上げる土笛づく り(動物や野菜) 講師によるおけ演 奏と活動紹介	おけ Rainbow 《レイカディアえにしの会》	彦根	8月29日(火)	9
			草津	9月5日(火)	11
バルーン講座 《2日間コース》	バルーンアートの基礎と 入門 (コツと実践) 講師による作品紹	Sボラ 《レイカディアえにしの会》	彦根 ①	9月19日(火)	16
			彦根 ②	9月26日(火)	15

	介と活動紹介				
美味しい珈琲の 入れ方講座	コーヒーの豆知識とド リップ体験・試飲 自宅でも美味しく 入れるコツなど	此处珈琲焙煎所	彦根	11月15日(水)	9
			草津	令和6年 1月25日(木)	13
そば打ち講座	前半・後半に分かれ て、おひとりで4人 前を打つ。うち、1 人前をゆがいて食 べる。講師のシニア の生きがいづくり の体験紹介	うりぼうトリオ 《代表：レイ大0B》	彦根	12月8日(金)	9
			草津	11月16日(木)	14
寄せ植え講座	クリスマスやお正月にぴ ったりの寄せ植え づくり。 講師による仲間づ くりや活動の紹介	よい樹会(彦根) Iゴ 41B会(草津) 《レイガ イえにしの会》	彦根	11月26日(日)	14
			草津	12月2日(土)	9
プロに学ぶ家庭 料理ステップア ップ講座 《5日間コース》	和食の基本と定番メ ニューに挑戦	佐々木料理学院	彦根 ①	11月22日(水)	14
	煮物・和え物など味 付けの基本		彦根 ②	12月13日(水)	14
	定番洋食の失敗し ないコツ		彦根 ③	令和6年 1月17日(水)	13
	定番洋食アレンジ 編		彦根 ④	令和6年 2月21日(水)	10
	おつまみ特集 ■ゲスト「こども食 堂」の実践紹介		彦根 ⑤	令和6年 3月13日(水)	13
畑のハナタバ づくり講座	滋賀県産の野菜や フルーツを使った ブーケ「畑のハナタ バ」づくり	野菜ソムリエ 和田 直子氏 《レイ大講師》	草津	令和6年 1月23日(火)	9
			彦根	令和6年 2月6日(火)	9
家庭介護講座 《2日間コース》	高齢者疑似体験と 介助のコツ	滋賀県介護福祉士会 山口 路子氏	彦根 ①	令和6年 2月10日(土)	9
	実技、介護保険の利 用の仕方		彦根 ②	令和6年 3月23日(土)	12
折紙講座 《第4月曜日》	柊、雪だるま、鬼、 おたふく	日本折紙協会 認定講師	彦根 ①	令和6年 1月22日(月)	13

	お内裏様とお雛様	坂 早百合氏 《レイカ`イえにしの会》	彦根 ②	令和6年 2月26日(月)	16
	飛び出すヘビなど		彦根 ③	令和6年 3月25日(月)	9
合 計					260

(2) ベース友活の開催

自由に語り合うシニアサロン「ベース友活」を開催し、意見交換を行った。

	開催日	参加人数
1	令和5年12月5日(火)	7
2	令和5年12月18日(月)	6
3	令和6年1月18日(木)	11
4	令和6年2月6日(火)	11
5	令和6年2月19日(月)	19
6	令和6年3月5日(火)	13
7	令和6年3月22日(金)	11
合 計		78

(3) S L E C推進委員会の開催

- 第1回 令和5年12月25日(月)
- 第2回 令和6年1月18日(木)
- 第3回 令和6年2月19日(月)
- 第4回 令和6年3月21日(木)

3 アクティブシニアに関する情報の発信

中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりの意識を高めた。

(1) レイカディア通信(シニア世代情報誌)の発行

- ・第13号：令和5年4月発行、3,600部発行
テーマ：「ねんりんピック愛顔のえひめ2023 滋賀県選手団参加報告」
- ・第14号：令和6年3月発行、3,600部発行
テーマ：「面白がって生きるコツ」

(2) びわこシニアネットの運営及び情報発信

- ・ボランティアによるHP更新：毎週月・木曜日、ボランティア登録者数4名
更新回数 48回
- ・びわこシニアネットアクセス件数
令和6年3月31日現在：275,216件

令和5年4月1日～令和6年3月31日アクセス数：6,853件 1日平均18.7件

(3) レイカディアえにしの会との協働による卒業生の地域での活躍を発信

びわこシニアネット内に、レイカディア大学卒業生の地域活動の検索システム「生きがいの森」において、在学生の活動のきっかけとなる情報を掲載した。

検索数2,393件（4月～3月）

4 アクティブシニアの健康と生きがいづくりの推進

高齢者のスポーツ・文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することにより、健康や生きがいづくりに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流促進、社会参加の拡大を推進した。

(1) ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会：計27種目開催

【スポーツ等交流大会】22種目

種目	実施状況	会場
卓球	5月27日(土)	草津市立総合体育館
テニス	4月10日(月)	滋賀県希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	5月5日(金・祝)	長浜バイオ大学ドーム
ソフトボール	4月23日(日) 4月29日(土)	皇子山総合運動公園多目的運動広場
ゲートボール	5月10日(水) 5月11日(木)・ 12日(金)	甲賀市甲南グラウンド 米原市スパーク山東
バタック	5月28日(日)	大津市和邇市民運動広場
マラソン	11月12日(日)	近江八幡市立運動公園周辺
剣道	4月16日(日)	滋賀県立武道館
グラウンド・ゴルフ	8月29日(火) ～9月17日(日) 10月21日(土)	布引グリーンスタジアム 他 滋賀県希望が丘文化公園GG場
太極拳	8月27日(日)	シライシアター野洲
ソフトバレーボール	4月16日(日)	甲賀市水口体育館
サッカー	5月7日(日)	ビックレイク
ウォークラリー	5月21日(日)	大津市坂本
オリエンテーリング	7月1日(土)	なぎさ公園
弓道	5月14日(日)	守山市民体育館弓道場
水泳	5月7日(日)	滋賀県立障害者福祉センター
ラグビーフットボール	5月21日(日)	ビックレイクグラウンド
ゴルフ	10月16日(月) 11月6日(月)	デイリー信楽カントリー倶楽部 他 ジャパンエースゴルフ倶楽部
ダンススポーツ	6月25日(日)	栗東市民体育館

ターゲットパドゴルフ	4月15日(土)	杣川河川敷コース
バウンドテニス	4月16日(日)	大津市瀬戸公園体育館
スポーツウエルネス吹矢	5月14日(日)	YMITアリーナ

【文化等交流大会】4種目

種 目	実施状況	会 場
囲 碁	5月5日(金・祝)	滋賀県立彦根東高等学校第2別館2階 会議室
将 棋	4月2日(日)	コミュニティーセンターやす
俳 句	10月28日(土)	大津市勤労福祉センター
健康マーじゃん	4月23日(日)	草津市立市民交流プラザ

【びわこ交流大会】1種目

種 目	実施状況	会 場
ボート	5月27日(土)	関西みらいローイングセンター (滋賀県立琵琶湖曹艇場)

【次年度大会説明会】

開催日 令和6年2月3日(土)
開催会場 県立長寿社会福祉センター

(2) 全国健康福祉祭えひめ大会へ滋賀県選手団を派遣

- ① 滋賀県選手団結団式結団式・全体説明会
開催日 令和5年10月11日(水)
開催会場 滋賀県立長寿社会福祉センター
- ② 第35回全国健康福祉祭 えひめ大会
開催日 令和5年10月28日(土)～31日(火)
開催地 松山市ほか

(3) 第32回レイカディア美術展の開催

- ・出品全作品の展示
開催日 令和5年5月24日(水)～28日(日)
会 場 COZY TOWN (アル・プラザ彦根4階)
作品数 180点(日本画13点、洋画43点、彫刻3点、工芸26点、書33点、
写真62点)
来場者数 690名
- ・入賞・表彰作品の展示
開催日 令和5年5月30日(火)～6月4日(日)
会 場 滋賀県立美術館 1階ギャラリー
来場者数 561名
- ・審査会の開催

開催日 令和5年5月24日(水)・28日(日)

会場 COZY TOWN (アル・プラザ彦根4階)

内容 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞)
表彰(アクティブシニア表彰)の審査

・表彰式の開催

開催日 令和5年6月4日(日)

会場 滋賀県立美術館 1階ギャラリー

対象 入賞(滋賀県知事賞、滋賀県社会福祉協議会会長賞、後援団体賞)、表彰(アクティブシニア表彰)の審査

・実行委員会の開催

3回開催(令和6年1月23日(月)、2月27日(月)、7月24日(月))

・展示会の動画を配信

5 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

令和3年に実施したサポートの会による「卒業生の地域貢献活動状況調査」を分析するとともに、市町社会福祉協議会に対し、レイカディア大学卒業生等の調査を実施し、集計・分析した。

【人材部門】

滋賀県介護・福祉人材センター

1 多様な人材層の参入促進（「滋賀の福祉人」の確保）

（1）現場職員と高校生・大学生等との交流「ふく・楽CAFÉ」の開催

- ・学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの魅力を実感し、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、進路選択の参考、働く意欲の高揚を図るために「ふく・楽CAFÉ」を実施した。

①高校での「ふく・楽CAFÉ」

センター区分	開催日	会場	学年 人数	講師
くさつ	令和5年 7月11日(火)	東大津高校	1年～2年 7人	人材センター
	令和5年 9月27日(水)	日野高校	福祉健康系列 2年16人	甲賀学園、サルビア会 ソーシャルインクルー(株)、 (株)アイリス
	令和5年 10月5日(木)	日野高校	福祉系希望 1年36人	人材センター
	令和5年 11月17日(金)	滋賀学園高校	2年24人	美輪湖の家、シルバーケア豊 壽園、守山学園
	令和5年 11月20日(月)	日野高校	福祉健康系列 3年28人	小原 日出美氏
	令和5年 12月8日(金)	栗東高校	3年8人	人材センター
	令和6年 2月16日(金)	八幡高校	普通科看護系 2年43人	慈恵会、しみんふくし滋賀、 グロー
ひこね	令和5年 12月14日(木)	愛知高校	2年10人	しがケアアンバサダー 人材センター
合 計			172人	

②地域での「ふく・楽CAFÉ」

センター区分	開催日	会場	人数	講師
くさつ	令和5年 6月29日(木)	長寿センター	71人	現任同士の交流会 県内の先輩職員3名、コーデ ィネーター1名
	令和5年 7月24日(月)	大津市勤労者福祉セ ンター	27人	近江ちいろば会、幸寿会、び わこ学園、やまびこ福祉会、 慈恵会、光養会
	令和6年	長寿センター	36人	現任同士の交流会

	3月7日(木)			コーディネーター1名
ひこね	令和5年 6月26日(月)	COZYTOWN	37人	現任者同士の交流会 県内の先輩職員3名、コーディネーター1名
	令和5年 10月15日(日)	長浜市さざなみタウン	2人	(福)湖北会、(福)長浜市社会福祉協議会
	令和6年 3月15日(火)	COZYTOWN	25人	現任者同士の交流会 県内コーディネーター1名
合 計			198人	

(2) 福祉職場へのインターンシップ等の実施

① 高校生向け「職場体験」

- ・ 高校生を対象に、介護・福祉職場での体験を通して、具体的な仕事の内容、魅力ややりがい、実際の職場の雰囲気などを知ってもらうことにより、介護・福祉分野への理解を深めるとともに、介護・福祉分野への進路選択の意欲を高める契機とすることを目的として実施した。全体で6高校の生徒の参加となった。

体験受入登録事業所数	事業所 77 (高齢 60、障害 14、児童 3)
体験実施期間	令和5年5月15日(月)～令和6年3月8日(金)
体験者数	8人(くさつ6人、ひこね2人)

② 大学生・社会人向け「助成金付きインターンシップ」

- ・ 介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知ってもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認のうえ、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	事業所 101 (高齢 76、障害 18、児童 5、その他 2)
体験実施期間	令和5年5月15日(月)～令和6年3月8日(金)
体験者数	73人(くさつ 65人、ひこね 8人)
うち就職者※	7人(くさつ 6人、ひこね 1人)

※就職者数は体験先以外を含む

(3) カイゴとフクシ就職フェア in しがの開催

介護・福祉職場と求職者とのマッチングの場として「カイゴとフクシ就職フェア in しが」を開催した。

2023年度「カイゴとフクシ就職フェア in しが」開催状況

開催日	会場	出展 法人 数	来場者数			クオカード(4もしくは5法人以上訪問)	1法人あたりブース訪問者数(平均)	採用者数			
			学生	うち 下回生	社会人			学生	社会人		
6/17(土) I部	滋賀県庁	14	26	4 15%	2 8%	22 85%	14 (53.8%)	5.7	2	0	2
6/17(土) II部	滋賀県庁	14	24	7 29%	1 4%	17 71%	16 (66.7%)	6.2	3	2	1
6/24(土) I部	アルプラザ彦根	11	20	1 3%	0 0%	19 95%	8 (40.0%)	4.7	2		2
6/24(土) II部	アルプラザ彦根	11	15	2 13%	0 0%	13 87%	7 (46.7%)	4.0	1	1	
7/1(土) I部	キラリエ草津	15	26	10 38%	7 27%	16 62%	20 (76.9%)	6.9	2	0	2
7/1(土) II部	キラリエ草津	14	23	2 9%	1 4%	21 91%	15 (65.2%)	6.1	2	0	2
		79	134	26 19%	11 8%	108 81%	80 (59.7%)	5.6	12	3	9
2/3(土) I部	草津市民交流プラザ (フェリエ南草津)	19	50	9 18%	8 16%	41 82%	29 (58.0%)	9.0	0		
2/3(土) II部	草津市民交流プラザ (フェリエ南草津)	19	39	7 18%	7 18%	32 82%	26 (66.7%)	6.8	0		
2/17(土) I部	アルプラザ彦根	8	22	5 23%	4 18%	17 77%	10 (45.5%)	8.1	0		
2/17(土) II部	アルプラザ彦根	11	19	5 26%	5 26%	14 74%	10 (52.6%)	5.2	0		
2/24(土) I部	滋賀県庁	18	28	4 14%	4 14%	24 86%	19 (67.9%)	5.6	0		
2/24(土) II部	滋賀県庁	18	41	8 20%	8 20%	33 80%	31 (75.6%)	8.9	0		
		93	199	38 19%	36 18%	161 81%	125 (62.8%)	7.3	0	0	0
合計		172	333	64	47	269	205		12	3	9

※2月の就職フェアの採用者数は令和6年度に集計を行う。

(4) 介護に関する入門的研修の開催

・介護の基本的な知識・技術を学ぶ機会として「介護に関する入門的研修」(21 時間)を実施した。

(入門コースカリキュラム内容 ※は基礎コース)

	時間		内容
1日目	9:30~9:45		オリエンテーション※
	9:45~11:15	1.5時間	介護に関する基礎知識※

	11:30~13:00	1.5時間	介護の基本※
	14:00~16:00	2時間	障害の理解
2日目	10:00~16:00	10時間	基本的な介護の方法
3日目	10:00~16:00		
4日目	9:30~11:30	2時間	介護における安全確保
	12:30~16:30	4時間	認知症の理解
	16:30~16:45		修了式

(開催日程等)

区分	日程	会場	参加者数	就職者数
くさつ	令和5年 7月19日(水) 7月31日(月) 8月2日(水) 8月10日(木)	キラリ工草津	25人	2人
	令和6年 1月16日(火) 1月18日(木) 1月20日(土) 1月25日(木)	県立長寿社会福祉センター	16人	2人
ひこね	令和5年 9月19日(火) 9月28日(木) 9月29日(金) 10月3日(金)	COZYTOWN	19人	3人
	令和5年 11月16日(木) 11月23日(木) 11月24日(金) 11月27日(月)	長浜市民交流センター	7人	0人

(5) 離職した介護福祉士等の届出の推進、再就職支援セミナーの開催

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	合計
届出者数	149	120	201	153	132	101	856

②「(再) 就職支援セミナー」および「福祉のお仕事入門セミナー」の開催

- i 介護職場への就労支援のため、主に離職介護福祉士等を対象に「(再) 就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、介護・福祉人材センターによる「介護の職場で働くにあたっての支援制度」の説明や「ミニ相談会」も実施し、参加者が見学や面接など次のステップへ進みやすいプログラムとした。

センター区分	開催日	会場	人数	講師
くさつ	令和5年 11月22日(水)	福祉用具センター	3人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
ひこね	令和5年 12月10日(日)	COZYTOWN	4人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
	令和6年 3月2日(土)	長浜カイコー	7人	滋賀県福祉用具センター 人材センター
合 計			14人	

ii 「福祉のお仕事入門セミナー」は令和3年9月から開始した事業であり、介護・福祉分野の仕事に関心をもつ方に、分野ごとの仕事の内容や職種、福祉の資格、求人の現状や傾向、就職活動の方法などについて、人材センター相談員が解りやすく説明し、就職意欲を喚起し介護・福祉の職場への入職を促すことを目的としている。また、希望者にはセミナー後に相談も実施している。

実施回数	会場※	参加者数	新規登録者数	採用数
毎月第3金曜日：12回	マザーズジョブステーション草津駅前	42人	10人	4人

※会場参加34人、オンライン参加8人

(6) 無料職業紹介事業等の実施

①概要

・職業安定法第33条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター区分	新規求人数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人数 (年平均)	有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェア等を通じた採用数	採用数計
くさつ	3,800	808	942	216	4.36	67	44	43	87
ひこね	1,513	402	377	107	3.52	31	18	37	55
合計	5,313	1,210	1,182	323	3.66	98	62	80	142
令和4年度	5,313	1,457	1,182	419	2.82	100	66	138	204
令和3年度	4,662	1,444	1,186	401	2.96	131	81	114	195
令和2年度	4,287	1,226	1,080	328	3.29	92	61	48	109
令和元年度	4,364	1,320	1,139	393	2.90	113	67	89	156

・人材センターでの採用数の推移

年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
人数	160	118	93	88	156	109	195	204	142

②求人情報等の発信

・毎月2回程度、最新の求人情報をまとめてホームページやSNS等で発信した。
希望者には求人情報誌を送付した。

③地域へ出向いての就職活動支援

i ハローワーク等でのガイダンス・職場説明会、出張相談の実施

・くさつセンターでは、ハローワーク等での求職者へのガイダンスや、ガイダンス終了後、2

～3事業所による地域密着型の小規模な職場説明会を開催した。さらに、休日にイオンモールや地域のコミュニティーセンター、県立男女共同参画センター会場を借りて、職場説明会を実施した。

出張相談では、ハローワーク大津と連携し、毎月1回（1回3時間）の出張相談を実施した。

・ひこねセンターでは、長浜駅前テラス内のLOCOLIVINGでの出張相談のほか、長浜まちづくりセンター(さざなみタウン)、COZYTOWNにおいて、毎月または隔月で「職場説明会」を開催し、採用数の増加につなげた。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 11回	221	23	0
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 11回	216	6	0
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 6回	33	4	0
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 7回	146	9	0
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 4回	28	1	0
ひこね	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 11回	108	15	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 11回	135	10	0
合 計			887	68	0

<職場説明会>

センター区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 10回	73	45	2
	ハローワーク草津	毎月第3月曜日 8回	41	13	3
	ハローワーク甲賀	奇数月第2水曜日 5回	23	11	0
	ハローワーク東近江	偶数月第2水曜日 6回	31	17	0
	ハローワーク高島	偶数月第1木曜日 3回	13	4	1
	男女共同参画センター	令和5年 9月2日(土)	16	5	2
	甲賀市まちづくり活動センターまる一む	令和5年 10月7日(土)	21	15	2
	イオンモール草津	令和5年 10月14日(土)	12	4	0
	イオンモール草津	令和5年 10月15日(土)	22	12	2
	堅田コミュニティーセンター	令和5年 11月26日(土)	5	5	1
ひこね	さざなみタウン	8回	87	17	6
	COZYTOWN	6回	83	17	5
合 計			427	165	24

<出張相談（ハローワーク大津以外は要予約）>

センター区分	開催場所	開催時期	相談者数	新規求職登録者数	採用者数
くさつ	ハローワーク大津	毎月第3火曜日	16	12	4
	シニアジョブステーション滋賀	毎月第2木曜日	1	1	1
	滋賀マザージョブステーション	毎月第4水曜日	3	2	1
ひこね	LOCOLIVING	毎月第3金曜日	11	8	1
合 計			31	23	7

<市町および養成施設等における就職支援>

センター区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
くさつ	(有)スタック	令和5年 4月14日(金)	8
	大津市（入門的研修後）	令和5年 7月3日(月)	21
	介護労働安定センター介護労働講習	令和5年 7月13日(木)	27
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和5年 7月19日(水)	16
	(有)スタック	令和5年 9月5日(火)	5
	大津市（入門的研修後）	令和5年 9月29日(金)	15
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和5年 10月4日(水)	9
	滋賀新卒応援ハローワーク	令和6年 1月17日(水)	26
	(有)スタック	令和6年 2月9日(金)	6
合 計			133

ii 学校、各市町等主催の就職フェア等への出展等（求職者への相談支援）

センター区分	主催	開催日	会場	概要
くさつ	東近江市	令和5年 9月5日（火）	びわこ学院 大学※	出展法人数：10 来場者数：45
	近江八幡市	令和5年 10月7日（土）	G-NET	出展法人数：22 来場者数：30
	甲賀市・湖南市	令和5年 11月19日（日）	サンヒルズ 甲西	出展法人数：23 来場者数：9
	高島市	令和5年 12月15日（金）	安曇川公民 館	出展法人数：14 来場者数：25
	甲賀市・湖南市	令和6年 2月4日（日）	忍びの里ぶ らら	出展法人数：19 来場者数：31
ひこね	米原市	令和5年 7月14日（金）	米原市役所	出展法人数：8 来場者数：10
	長浜市・米原市	令和5年 10月15日（日）	さざなみタ ウン	出展法人数：12 来場者数：20
	湖東圏域	令和5年 11月16日（木）	プロシード アリーナ	出展法人数：20 来場者数：26
	湖東圏域	令和6年 2月22日（木）	プロシード アリーナ	出展法人数：20 来場者数：28

※会場には日野高校生も来場

④福祉職場の魅力発信・啓発

ホームページ、LINE、facebook、ツイッターによる情報発信

- ・LINE等を活用し、介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信した。WEBを活用した情報発信件数は257回となった。
- ・LINE登録者は679人（前年比+99人）となった。

2 「滋賀の福祉人」の定着支援・ネットワークづくり

(1) 新入職員の定着支援

①実行委員会形式による合同入職式の開催

開催日	令和5年5月18日(木)
会場	琵琶湖ホテルとオンラインのハイブリッド
内容	<p>○合同入職式 滋賀県知事を迎え合同入職式を実施。会場参加者には知事より直筆メッセージカードを交付。</p> <p>○交流会講演 内容：「The future of Shiga ～クリエイティブに働こう～」 講師：石本 淳也氏 (KAIGO PRiDE 理事、熊本県介護福祉士会会長)</p> <p>○交流会応援ソング&メッセージ 演奏：田中 孝史氏 (ヴォーリス老健センター) 他 EMPOWERMENT RECORDS</p>
希望者数	96人(会場参加29人、オンライン参加28人、不参加であるがメッセージカードのみ交付者39人)
実行委員会(11団体)	滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

②新入職員フォローアップ研修・交流会の開催(1年後)

開催日	令和6年3月7日(木)(くさつ)、3月15日(金)(ひこね)
会場	長寿センター(くさつ)、COZYTOWN(ひこね)
内容	<p>○交流会 内容：「日々のふりかえり」「あなたにとって大切な価値観とは」をテーマにしたグループワークや仲間づくり 講師：(福)びわこ学園 増野隼人氏 (福)高島市社会福祉協議会 西村一真氏</p>
参加者数	くさつ37人、ひこね25人

(2) メンターの育成を通じた新入職員の定着支援

コース	参加者数	内容
基礎	11人 (7事業所)	メンター制度導入に向け、意義や進め方を学ぶ。 (講師) 幸重 忠孝氏 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (平成5年4月20日(木)、27日(木))
定着支援	16人 (14事業所)	1年間を通じたプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師) 幸重 忠孝氏 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (令和5年4月20日(木)、27日(木)) ・フォローアップ研修 (令和5年8月22日(火)) ・成果報告会 (令和6年2月20日(火) 参加13人) ・支援員による巡回相談 (2回 14事業所 面談15人)

(3) 事業所向け人材確保・定着セミナーの実施

開催日	令和5年7月26日(水)
会場	オンライン
内容	○介護・福祉人材採用力アップ 事業所セミナー 講師：株式会社マイナビ 神野 達郎氏ほか ●「パワーポイントで魅力的な採用資料を作ろう！」 ●説明会の役割を理解する ●説明会の各パートでの伝える内容
参加数	30事業所 38名

開催日	令和6年1月31日(水)
会場	長寿センター
内容	○介護・福祉人材採用力強化セミナー第二弾 講師：株式会社リクルート 坂本 宗庸氏 ●「採用活動におけるPR力の強化とオンライン活用」 ●職場の魅力の見つけ方 ●ターゲットに則した自法人のPRの内容を考える
参加数	18事業所 23名
開催日	令和6年3月6日(水)
会場	オンライン
内容	○介護助手導入セミナー 講師：三重県老人保健施設協会 事務局長 小野昌宏氏 (医療法人 緑の風 介護老人保健施設 いこいの森 事務長) ●「介護助手導入のメリットと業務の切り出し～人材確保と業務改善～」
参加数	12事業所 14名

(4) キャリア・ライフ電話相談の実施

・介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 令和5年4月1日(土)～令和6年3月31日(日)
月～金曜日(祝日、年末年始を除く)10時～16時

実施方法 電話相談
相談件数 3件

分 類	件数	分 類	件数
1. 職場内人間関係	2	4. 資格取得等のスキルアップ	1
2. ワーク・ライフ・バランス	0	5. 支援技術等ノウハウ	0
3. 職場のストレス（1以外）	0	6. その他	0

3 えにしアカデミー修了者在籍事業所への助成

「えにしアカデミー」の2年間の課程を修了した職員(滋賀の福祉人マスター)を中心とした、えにしアカデミーでの学びを生かした地域および事業所での知識や技術の波及、福祉人材育成等の実践により、県内どの地域においても一定水準以上の質の高い福祉サービスが提供できる「滋賀の福祉」を実現することを目的として以下のとおり助成事業を行った。

- ・助成対象 えにしアカデミー修了者(第1期生)在籍事業所
- ・1年目修了年度 助成上限額：50,000円
翌年度および翌々年度 助成上限額：100,000円/年度
※同年度に「滋賀の福祉人マスター」を複数輩出しても助成金額の上限は上のとおり
- ・助成実績 16事業所 746,219円（事業執行は17事業所）

滋賀県社会福祉研修センター

1 「滋賀の福祉人」研修

県、大津市と本会による三者協定「滋賀の福祉人の育成に関する協定」（平成30年12月7日締結、令和4年3月1日一部改定）に基づき、令和4年度より「滋賀の福祉人研修」を実施。本県の福祉従事者が「滋賀の福祉人」として自らの福祉観をはぐくみ、キャリア形成していくための全分野共通研修として取り組んだ。

(1) 社会福祉共通研修

- | | | |
|--------------|----------------------------|-------------|
| ①新任期（原則3年未満） | （3日×3コース）内1コース COZYTOWN 実施 | 【修了者数】 141人 |
| ②中堅期（原則5年未満） | （3日×1コース） | 【修了者数】 104人 |
| ③チームリーダー | （3日×1コース） | 【修了者数】 64人 |
| ④管理職 | （2日×1コース） | 【修了者数】 43人 |

※「滋賀の福祉人」とは

「滋賀の福祉人」とは、支援の知識や技術を支える基本となる支援者としての高い倫理観や価値観を有し、それらを土台に据えて主体的に日々の福祉実践を行う人材をいう。

(2) 「滋賀の福祉人」研修の充実にむけた検討

滋賀の福祉人研修の充実のために、研修カリキュラム検討委員会を設置し、検討会を実施した。
令和5年度は2回実施。

2 介護人材育成研修

(1) 介護職階層別

- | | | |
|----------------|-----------------------------|------------|
| ① 新任期 (原則3年未満) | (5日×5コース) 内1コース COZYTOWN 実施 | [修了者数] 45人 |
| ② 中堅期 (原則5年未満) | (5日×1コース) | [修了者数] 41人 |
| ③ チームリーダー | (5日×1コース) | [修了者数] 27人 |
| ④ 管理職 | (3日×1コース) | [修了者数] 24人 |

※各階層うち3日(管理職は2日)は、「滋賀の福祉人」研修と共通

- (2) 介護職員チームリーダー養成研修 (17日×2コース) [修了者数] 32人

3 課題別研修

- (1) 障害福祉分野等における対人支援のための記録入門研修 (2日×1コース) [修了者数] 30人
- (2) 高齢福祉分野における対人支援のための記録入門研修 (2日×1コース) [修了者数] 24人
- (3) OJT 推進リーダー研修 (3日×1コース) [修了者数] 56人
- (4) キャリアデザイン研修
- | | |
|---------------------|-----------|
| ① 新任期 (2日×1コース) | [修了者] 59名 |
| ② チームリーダー (2日×1コース) | [修了者] 44名 |

4 介護支援専門員の法定研修事業

- (1) 介護支援専門員実務研修 (91時間×4コース) 内1コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 147人
- (2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ (56時間×3コース) 内1コースオンライン実施 [修了者数] 78人
- (3) 介護支援専門員専門課程Ⅱ (32時間×5コース) 内1コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 317人
- (4) 介護支援専門員再研修 (55時間×3コース) ※更新研修Ⅱと同時実施 [修了者数] 58人
- (5) 介護支援専門員更新研修Ⅱ (55時間×3コース) ※再研修と同時実施 [修了者数] 102人
- (6) 主任介護支援専門員研修 (70時間×1コース) 一部課目2クラス [修了者数] 89人

5 認知症に関する専門的研修事業

- (1) 認知症介護基礎研修 集合 (1日×4コース) 内2コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 324人
e-ラーニング (随時) [修了者数] 1,670人
- (2) 認知症介護実践者研修 (6日×3コース) [修了者数] 208人
- (3) 認知症介護実践リーダー研修 (7日×1コース) [修了者数] 51人
- (4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修 (5日×1コース) [修了者数] 7人
- (5) 認知症介護サービス事業開設者研修 (1日×1回) [修了者数] 6人
- (6) 認知症対応型サービス事業管理者研修 (2日×2コース) [修了者数] 56人
- (7) 小規模多機能型サービス等計画作成者研修 (2日×2コース) 内1コース COZYTOWN 実施 [修了者数] 23人

6 権利擁護に関する研修事業

- (1) 権利擁護(身体拘束廃止)推進員養成研修 (4日×1コース) [修了者数] 24人
- (2) 身体拘束ゼロセミナー (1日×1回) オンライン併用 [修了者数] 447人
- (3) 障害者虐待防止・権利擁護相談担当職員研修 (2日×1回) 1日目オンライン [修了者数] 15人

- (4) 障害者虐待防止・権利擁護施設従事者研修 管理者向け (1日×2回) [修了者数] 93人
 従事者向け 講義動画配信 [受講者数] 111人

えにしアカデミー

(1) 第1期生の修了

①修了論文発表会の開催

開催日 令和5年8月9日(水)

場所 滋賀県立長寿社会福祉センター 第1研修室および第2～4研修室

出席者 78名

1期生、1期生の推薦者、フェロー、2期生 等

修了論文一覧

所属分野	修了論文
高齢	専門職ネットワークによる地域活動と社会資源の創出に関する研究 ～「ちいきつなげ隊」の原動力と新たな活動に向けて～
高齢	介護の仕事の魅力について ～主任級のベテラン職員と3年未満の職員との比較を通して～
高齢	「介護の社会化」の現在地 ～独居高齢者支援からみえる「介護の社会化」の現状と課題～
高齢	介護保険制度における介護支援専門員の実態と課題 ～インフォーマル・サポートの活用や社会資源の開発、地域作りの観点からの検討～
高齢	「好き」と「楽しい」は継続の力となる。「劇団梅の木」の活動からみえるもの ～福祉人としてレクのプロとして最高のエンターテイメントを届けたい～
高齢	地域共生社会の実現に向けた社会福祉法人ネットワークの実践と可能性 ～近江八幡市・岡北学区の「おかきたネットワーク」の取り組み～
高齢	福祉人材の離職原因と福祉人材の不本意な離職防止についての提案
高齢	高齢者介護の今までと2040年問題に向けた取り組み～今、私たちにできること～
高齢	年老いてなお自分らしく最後まで幸せに暮らすためには ～ケアマネジャーとしてできること～
高齢	切れ目ない子育て支援にむけて～学童クラブ利用の母親の現状と課題～
高齢	高齢者虐待の実態およびその要因と防止対策について ～ひとりひとりのくらしがよくなるために～
高齢	精神疾患を抱える職員と共に働く職員の働きやすさを確保する方法
高齢	介護老人保健施設における精神疾患をもつ入所者の在宅復帰の阻害要因と支援のあり方
障害	重層的支援体制整備事業の「断らない相談支援」における多機関連携の進捗

	状況と課題～甲賀市行政担当職員のインタビュー調査から～
障害	障害福祉サービス事業所の組織及び働く従事者が大切にしたいこと ～本人中心支援の事例から～
障害	社会福祉法人グローによるソーシャルワーク実践の軌跡と筆者のキャリア 形成 ～筆者がこれから挑戦すること～
障害	良質な支援を生み出す土壌と育てる水とは 個人と集団の側面と
児童	家族再統合における子ども家庭福祉の関係諸機関との連携・協働により生じ る困難性と重要性～子どもと家族と共に歩むことで見えてくるもの～
保育	多（他）職種との連携が、園での虐待問題の解決につながるか ～多（他）職種の持つ役割を知り、虐待問題の解決につなげる～
保育	「やりがい」を持って楽しくいきいきと働くことのできる保育環境に関する 調査研究～エンパワメントとワーク・エンゲイジメントが保育者の「やりが い」を支える～
社協	自治会加入率が低下する中今求められる自治会活動と地域福祉
社協	くらしの豊かさと社会的孤立 ～人が共に生きていける地域をつくる社協 CSW の視点から～
社協	重層的支援体制整備事業における参加支援・多機関連携の有効性について考 える ～東近江市子どもの学習・生活支援事業を通して～
社協	社会福祉協議会に期待されるこれからの在宅介護サービスとは ～関係者へのインタビュー調査から～
社協	児童養護施設等退所者自立支援資金のあり方について
行政	地域共生社会実現に外国人学校が果たす役割
行政	重層的支援体制整備事業における都道府県の役割について
行政	マルチリートメント家庭の課題解決に向けた障害児入所施設における家族 支援のあり方に関する研究

以上 28 題

②第 1 期生修了式の開催

開催日 令和 5 年 9 月 13 日（水）

場 所 ホテルボストンプラザ草津びわ湖 ケネディルーム・リンカーンルーム

出席者 78 名（うち第 1 期修了生 27 名）

滋賀県知事、団体・職能団体、えにしアカデミー運営委員、学生所属法人、2 期生 他

（2）第 3 期生の募集と入学式の開催

①第 3 期生の入学者数

入学生数 15 名（定員 15 名）

聴講生 33 名（令和 6 年 3 月 31 日現在）

②第 3 期生入学式の開催

開催日 令和5年10月4日(水)
 場所 草津市立市民交流プラザ(フェリエ南草津5階) 大会議室
 出席者 38名(うち3期生入学生15名)
 団体・職能団体、えにしアカデミー運営委員、学生所属法人、県内社会福祉法人、
 えにしアカデミー2期生 他

(3) 講義等の実施

① 講義実施状況

i 第2期後期(令和5年4月~令和5年9月)

オンライン講義 15回

集合講義 2回

ii 第3期前期(令和5年10月~令和6年3月)

オンライン講義 17回

集合講義 3回

② ゼミ実施状況

i 第2期後期(令和5年4月~令和5年9月)

・2年生(1期生)ゼミ

28名の学生が8つのゼミクラスに分かれて月1回~2回実施

修了論文作成に向けた指導および意見交換

ゼミ	所属人数	実施回数
新崎ゼミ	5名	9回
牛谷ゼミ	3名	4回
北野ゼミ	3名	5回
樽井ゼミ	2名	4回
廣野ゼミ	4名	4回
松端ゼミ	4名	4回
南ゼミ	3名	7回
渡辺ゼミ	4名	4回

・1年生(2期生)ゼミ

日程	授業内容
4月	修了論文テーマについて
5月	修了論文テーマについて
6月	批判的思考
7月	文章の書き方
8月	修了論文テーマについて

ii 第3期前期（令和5年10月～令和6年3月）

・ 2年生（2期生）ゼミ

15名の学生が5つのゼミクラスに分かれて月1回～2回実施

修了論文作成に向けた指導および意見交換

ゼミ	所属人数	実施回数
新崎ゼミ	3名	6回
北野ゼミ	3名	6回
松端ゼミ	3名	6回
南ゼミ	3名	6回
渡辺ゼミ	3名	6回

・ 1年生（3期生）ゼミ 5回実施

学生が次のテーマについてプレゼンテーションを行う

「困難に直面したときに、手にとった文献（本・雑誌・漫画・詩など）について」

日程	内容
10月	オリエンテーション
11月	発表者4名
12月	発表者3名
1月	発表者4名
2月	発表者4名

(4) 2期生修了論文構想発表会の開催

開催日 令和6年1月5日（金）

場 所 草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）402 会議室

出席者 37名（うち2期生14名含む）

3期生10名、フェロー7名 他

内 容 研究方法、修了論文の章立て（各章のテーマ）などについて発表

【滋賀県福祉用具センター】

1 抱え上げない介護推進事業

・職員の腰痛予防等労働安全衛生やケアの質の向上に有効な抱え上げない介護の推進に向け、啓発、取組事業所の創成、取組の定着を目的とする研修を開催した。また、一定の研修を修了し、積極的・継続的に実践している事業所を「抱え上げない介護推進事業所」として推奨する事業を開始し、新規7事業所、継続1事業所を推奨した。

- | | | | |
|------------------------|-----------|----------|------|
| (1) 抱え上げない介護入門研修 | (1日) | [修了者数] | 62名 |
| (2) 抱え上げない介護実践研修 | (5日×2コース) | [修了事業所数] | 8事業所 |
| (3) 抱え上げない介護定着研修① | (1日×2回) | [修了者数] | 53名 |
| (4) 抱え上げない介護定着研修② | (1日×2回) | [修了者数] | 34名 |
| (5) 体に負担の少ないやさしい介護技術研修 | (1日×2回) | [修了者数] | 54名 |
| (6) リフトリーダー養成研修 | (2日×2コース) | [修了者数] | 27名 |
| (7) 抱え上げない介護推進事業所見学ツアー | | [参加者] | 18名 |
| (8) 抱え上げない介護推進事業所推奨事業 | | | |

[推進事業所] 医療法人湖青会	高齢者グループホーム南志賀の里
社会福祉法人華頂会	特別養護老人ホーム福寿荘
社会福祉法人びわこ学園	さくらはうす
社会福祉法人慈恵会	特別養護老人ホームゆいの里
社会福祉法人野洲慈恵会	特別養護老人ホームぎおうの里
社会福祉法人近江ちいろば会	グループホームぼだいじ
社会福祉法人近江ちいろば会	ぼだいじデイサービスセンター虹
株式会社J Aゆうハート	水口ヘルパーステーション

2 福祉用具(ICT,介護ロボットを含む)を活用したケアの推進

(1) 福祉用具セミナー・展示体験会の開催

テーマ	「“できる”を探しに行こう」
開催日	令和5年10月19日(木)
会場	米原市役所本庁舎コンベンションホール
共催	県立リハビリテーションセンター、日本福祉用具供給協会滋賀ブロック 滋賀県介護支援専門員連絡協議会
協力	滋賀県作業療法士会
後援	米原市
内容	スペシャルセミナー「暮らしにあった歩行支援用具の選び方・使い方」 製品プレゼンテーション、製品展示体験
参加者	110名

(2) センターでの常設展示、見学対応、展示用具の貸出

①福祉用具センター展示

627点（令和6年3月末日現在）の福祉用具を展示

②展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

・試用評価貸出者 191名 貸出点数 280点

分類別貸出用具点数			
自助具	92点	コミュニケーション関連	62点
排泄用具	19点	入浴用品	31点
歩行支援	23点	家具・手すり	8点
移乗用具・リフト	26点	車いす	4点
衣類・靴	15点		

・研修・地域イベント等への展示用具の貸出 6件

借用者	件数
福祉関係機関・団体等	5件
福祉用具販売事業所	1件

③福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来所者数 1,931名

団体見学（7団体）	106名	主催研修受（31日）	709名
個人見学	145名	外部依頼研修（館内実施）	202名
来所相談	109名	その他来館者	469名
福祉用具試用貸出	191名		

・関係機関、学校等からの依頼研修の実施 16件

依頼元	依頼元数
医療・介護養成校等	6件
福祉用具メーカー・販売事業所	3件
介護提供事業所	2件
当事者団体	1件
関係機関	4件

・福祉用具センター利用者数 2,568名

来所者	1,931名	来所以外の相談	157名
出前講座・出前展示	480名		

(3) ICTを活用したコミュニケーション支援に関する協議会の開催

開催日	協議事項および結果
令和5年9月4日	・支援の現状と課題の共有
令和6年1月22日	・今後の方向性の検討 ①ネットワーク型支援の構築、②支援者の増加と支援の質の向上に向けた取り組みを行っていく

(4) ホームページ、SNS、啓発資料による情報発信

- ・ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを活用し、抱え上げない介護情報、製品情報等の発信を行った。また、抱え上げない介護の啓発資料を作成した。

3 福祉用具を活用したより良い暮らしや介護負担軽減のための相談対応

- ・医療・福祉サービスの利用者やその家族、施設・事業所等関係機関から、福祉用具や住宅改修等の相談を受け、アセスメントや選定や使い方の助言・指導、フォローアップ等を行った。

(1) 福祉用具等に関する相談対応

①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応 225件

	内容
相談方法	来所 (132)、電話 (68)、訪問 (24)、Eメール (1)
相談者	福祉医療職 (91)、家族 (88)、本人 (21)、福祉用具事業所 (15)、その他 (10)
相談内容 (延べ)	用具紹介 (91)、選定 (61)、改造 (32)、住宅改修 (5)、制度 (2)、その他 (51)
用具品目 (延べ)	衣類 (41)、コミュニケーション支援機器 (39)、移乗用具 (25) 車いす (25)、住宅関連用具 (14)、姿勢管理用具 (14)、入浴用具 (13)、歩行支援用具 (11)、ベッド (10)、食事用具 (9)、排泄用具 (5)、その他 (33)

②福祉用具等の改造・製作 7件

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	衣類の改造	7件

(2) 商業施設(アル・プラザ彦根)での定期的な相談会の開催

- ・「暮らしを快適にする福祉用具ミニ展示会」として、一般の方を対象にした展示相談会を開催した。

開催日	内容	来場者数
令和5年6月8日、9日	歩行支援用具、食事用具、靴等の展示と相談	70名
令和6年3月6日、7日	ハンドル型電動車椅子、歩行支援用具の展示と相談	48名

4 福祉用具に関する専門研修

- ・福祉用具を活用した安全で快適なケア現場づくりを進めるために、介護・福祉事業所を対象にした福祉用具・住宅改修に関する専門的研修を実施した。

(1) 福祉用具・住宅改修基礎研修	(2日)	[受講者数] 54名
(2) コミュニケーション機器支援研修	(1日)	[受講者数] 28名
(3) 福祉用具プランナー認定講習	(9日)	[修了者数] 23名
(4) 電動車椅子の安全利用のための研修会	(1日)	[受講者数] 10名

5 体験学習

- ・商業施設（アル・プラザ彦根）での高齢者疑似体験 1件

6 関係機関・団体との連携

- ・地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図った。また、福祉用具メーカー・販売貸与事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

①県立リハビリテーションセンターとの連携

- ・県立リハビリテーションセンター更生相談係と、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応に努めた。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
- ・県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会」の運営に参画した。

②福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携

- ・福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
- ・日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。
- ・福祉用具専門相談員協会と研修を共催で開催した。

③関係機関・団体との連携

- ・滋賀県介護支援専門員協会と福祉用具セミナー・展示会を共催で開催した。

7 福祉用具センターの運営管理

(1) 滋賀県福祉用具センター運営委員会の開催

開催日	協議事項および結果
令和5年9月9日	① 展示福祉用具の選定について(6点中6点採用)
令和6年2月8日	① 福祉用具センターの役割について ② 展示福祉用具の選定について (5点中5点採用)

【COZY TOWN】

1 広報、情報発信の状況

- ・ COZYTOWN について HP および SNS による情報発信
滋賀県社協 HP (COZY TOWN ページ)、Instagram、Facebook、Twitter
SNS 更新頻度：1 週間に 1 回程度
- ・ COZY TOWN リーフレット等を用いた COZYTOWN の周知
- ・ イベントカレンダーの作成および更新
月ごとの COZY TOWN でのイベントカレンダーを作成し紙および SNS・HP にて発信。

2 基本事業の実施

- ・ 滋賀県レイカディア大学彦根キャンパスの運営
在校生

44 期：園芸学科	33 名
北近江文化学科	17 名
健康づくり学科	15 名
43 期：園芸学科	24 名
北近江文化学科	21 名
健康づくり学科	20 名

レイカディア美術展開催	令和5年5月24日～28日 ※5日間
オープンキャンパス	令和5年6月17日
レイカディア大学祭	令和5年7月14日～15日

- ・ SLEC

<友活講座> (R5.8～R6.3)

22 回開催 延べ 260 名参加

県民のレイカディア大学への誘いとして、また卒業後の社会貢献の入り口として、趣味・生きがいづくり、社会貢献スキルの獲得など多様な講座を実施した。

<ベース友活> (R5.12～R6.3)

7回開催 延べ 78 名参加

参加者が主役となって自由に語り合う居場所として実施 (概ね月に 2 回)。

ゲストスピーカーを招いて交流、ゲームなどのレクリエーション的な要素を取り入れる等、様々な内容で実施した。

場 所： コージータウンカフェ

参加費： 100 円 / 1 回

- ・ 滋賀県介護・福祉人材センターひこねセンター
介護・福祉職の無料職業紹介所として運営
ふく楽カフェ 2 回実施
カイゴとフクシ就職フェア in しが 2 回実施

職場説明会 5回実施

カイゴのお仕事体験会 1回実施

・つながり若者センターCOZYTOWNの運営

個別相談支援と居場所活動を軸に主に社会的養護のもとを築立った若者の支援を展開。

3 ごっちゃ事業の実施

・おやこサロン（子育て支援）＜小嶋・さざなみ×つなわか×カフェ＞

実施日	毎週金曜日 14:00～16:00
-----	-------------------

・若者食堂（若者の居場所活動）＜さざなみ学園×つなわか×カフェ＞

実施日	第1 金曜日（夜の居場所活動） 第2 火曜日（イラスト活動、昼間） 第4 木曜日（創作活動）
-----	--

・こころと身体の発育サロン（心理士による教育相談）

＜さざなみ学園×つなわか＞

実施日	毎月第4 火曜日
-----	----------

・特例貸付猶予・免除の手続き相談会＜修学・生活資金課×コージータウン推進課＞

実施日	7/29
-----	------

・福祉用具の展示会＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根×P ネット＞

実施日	6/8～9、3/6～7
-----	-------------

・インスタントシニア体験＜福祉用具センター×アル・プラザ彦根×P ネット＞

実施日	12/11
-----	-------

・子ども食堂フェスタ in コージータウン

＜地域福祉課×子ども食堂×えにしの会×スポンサー企業×アル・プラザ彦根＞

実施日	10/28
-----	-------

・「カモミールの部屋」の開催＜地域福祉課×コージータウン推進課＞

実施日	12/15
-----	-------

・コージータウンフェスタの開催＜コージータウン内部署＞

実施日	12/9～12/16
-----	------------

4 バリアフリー映画会開催状況

開催日	上映作品	来場者数
4/8	さかなのこ	26名
5/13	山中静夫氏の尊厳死	31名
6/10	ミスモールランド	31名
7/8	日日是好日	63名
8/19～20	バリアフリー映画祭(4作品上映)として実施	計60名
(8/19)	ぼくらのよあけ	21名
//	子供はわかってあげない	12名
(8/20)	ゆめパのじかん	13名

//	東京干潟/蟹の惑星	14名
9/9	ケイコ目を澄ませて	33名
10/14	アイネクライネナハトムジーク	37名
11/11	二宮金次郎	38名
12/9	桜色の風が咲く	51名
1/13	せかいのきおく	55名
2/24	あの子は貴族	46名
3/9	高野豆腐店の春	49名

延べ参加者数 510名 月別平均 41人

5 COZY TOWN Café 運営状況

年月	来客数	売上
R5 4月	1,502	729,720
5月	1,507	725,890
6月	1,488	675,360
7月	1,887	829,350
8月	1,643	745,750
9月	1,520	680,050
10月	1,602	716,750
11月	1,408	622,550
12月	1,278	543,900
R6 1月	1,300	557,950
2月	1,427	612,100
3月	1,689	697,950
合計	18,251名	8,137,320円

【滋賀県運営適正化委員会事務局】

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 全体委員会の開催

開催日 令和5年9月26日（火）

会 場 滋賀県立長寿社会福祉センター

議 事 運営適正化委員会の活動状況、今後の活動についての意見交換 等

2 福祉サービスの苦情解決

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、下記のとおり合議体を開催し、対応した。

(1) 苦情解決合議体の開催（4回開催）

	期 日	内 容
1	令和5年 4月18日（火）	協議案件0件、報告案件2件
2	令和5年 6月29日（木）	協議案件0件、報告案件2件
3	令和5年 9月26日（火）	協議案件0件、報告案件0件
4	令和5年 12月19日（火）	協議案件0件、報告案件1件

(2) 福祉サービスに関する苦情相談の受付状況

	苦情 受付	苦 情 解 決 の 結 果 (内 訳)							その他 問合せ 等	合計
		相談 助言	紹介 伝達	あっ せん	通知	事情 調査	申入 れ	継続		
合計	3	0	3	0	0	0	0	0	141	144

※苦情受付件数は新規のみ計上

事情調査 0件

申し入れ 0件

あっせん 0件

知事通知 0件

3 福祉サービスの苦情解決に関する広報・啓発等

利用者、社会福祉事業の経営者等に対して、福祉サービスの苦情解決の仕組みや運営適正化委員会を幅広く周知し、利用者側から苦情等を相談しやすい環境づくりを進めるために、広報啓発をおこなった。

(1) 県民向けの福祉サービスの苦情解決に関する広報啓発

①これまでに、作成した資材（在庫分：パンフレット）を、県内社会福祉施設・事業者、行政、市町社協等へ配布

②県社協ホームページでの広報

(2) 福祉サービス事業所巡回訪問

- ①一般社団法人スマイルコム 放課後等デイサービス フレンズ堅田（児童）
- ②社会福祉法人近江和順会 特別養護老人ホーム レーベンはとがひら（高齢）

(3) 福祉サービス苦情解決研修会

研 修 名 福祉サービス苦情解決研修会【上級編】・【中級編】

ね ら い 社会福祉法第 82 条により、社会福祉事業の経営者は福祉サービス提供にかかわる苦情の適切な解決に務めることが求められており、福祉サービスを提供する事業所に対し、苦情解決体制その役割、苦情が発生する状況や利用者の心理を学ぶとともに、苦情解決の手順や苦情を予防する基本的な知識の習得を目的とする。今年度は【上級編】・【中級編】に分け、2 回開催した。

会 場 滋賀県立長寿境福祉センター 第 2・3・4 研修室

講 師 コミュニケーションサポートオフィス代表 喜山 志津香氏

- 対 象
- ① 福祉サービス事業所の苦情受付担当者および苦情解決責任者
 - ② 福祉サービス事業所職員
 - ③ 第三者委員
 - ④ その他関係職員

【上級編】日 時 令和 6 年 1 月 30 日（火） 13：30～16：30

参加人数 53 人

講義内容

「クレームに向かう姿勢・クレーム対応の実際・ハードクレームへの心構え」

【中級編】日 時 令和 6 年 2 月 15 日（木） 13：30～16：30

参加人数 70 人

講義内容

「クレームに向かう姿勢・クレーム対応の実際・クレーム対応の話し方・安心してクレーム対応に臨める環境づくりとは」

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

市町社会福祉協議会が実施する地域福祉権利擁護事業の適正な運営を確保するため、運営監視を行い、運営監視合議体を開催のうえ対応した。

(1) 運営監視合議体の開催（4回開催）

	期 日	内 容
1	令和 5 年 4 月 14 日（金）	・追加調査を行った社協への助言等について ・令和 5 年度上半期の運営監視の実施について
2	令和 5 年 8 月 18 日（金）	・令和 5 年度上半期の運営監視の現地調査の報告と助言事項について ・滋賀県地域福祉権利擁護事業実施要綱の改正について ・令和 5 年度下半期の運営監視の実施予定について

3	令和6年2月10日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度下半期の運営監視の現地調査の報告と助言事項について ・不適正事案について ・令和6年度地域福祉権利擁護事業 現地調査 実施計画について検討
4	令和6年2月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・不適正事案について実地調査報告

(2) 定期現地調査の実施

10 社協実施

(3) 特別調査の実施

令和6年1月29日（月）